東芝ハードディスクカメラ
取扱説明書

形名　GSC-A100F／GSC-A40F

東芝ハードディスクカメラgigashotを安全に、正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」および別紙の「安全上のご注意」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力ください。

Li-ion

本製品は Exif Print に対応しています。

本製品は PRINT Image Matching Ⅲ に対応しています。PRINT Image Matching 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching Ⅲより前の対応プリンタでは、一部機能が反映できません。

はじめに

ご使用の前に

このたびは東芝ハードディスクカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、1.8型100GB/40GBハードディスクと光学10倍ズームレンズを搭載し、MPEG4 AVC/H.264形式（159ページ）のフルハイビジョン動画と200万画素の静止画を撮影できるカメラです。
お求めのハードディスクカメラを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
外観、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張、省略があり、実際とは多少異なる場合があります。
本書中では、動画撮影に有効な機能や設定には マーク、静止画撮影に有効な機能や設定には マークをつけています。また、動画と静止画を合わせて「画像」と呼んでいます。

商標について

- gigashotは、株式会社東芝の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Pentium、Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標です。
-
- Nero Vision 5およびNero AGが開発したその他のソフトウェア製品はNero AG、その子会社および関連会社の登録商標です。Copyright©NeroAGおよびその実施許諾者 1996-2007
- SDHCおよびSDロゴは商標です。
  本書中では、SDHCメモリーカードおよびSDメモリーカードを「SDカード」と記述します。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC.の登録商標または商標です。
- ドルビーからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- x.v.Colorは、ソニー株式会社の商標です。
- Macintoshは米国Apple Inc.の商標または登録商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、日本の情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ 情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

著作権・肖像権についてのご注意

あなたがハードディスクカメラで記録した画像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等すると、著作権・肖像権等の侵害となる場合がありますので、ご注意ください。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルなどの転送は、著作権法で許容された範囲内での使用に限られますので、ご注意ください。

ファームウェアのバージョンアップについて

出荷以降、より良くお使いいただくために、ファームウェア（カメラ本体の制御用プログラム）のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
東芝gigashot ホームページ　http://www.gigashot.net/

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製したりすることはできません。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書は、1台の機器について使用できます。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書によって機器を使用して、お客様または第三者に損害が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

カメラの廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

このカメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、内蔵ハードディスクドライブおよびSDカード内のデータは完全には消去されません。市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せる場合があります。そのため、カメラ本体またはSDカードを譲渡／廃棄したあとで重要なデータが流出して、トラブルになる可能性があります。
これを回避するために、内蔵ハードディスクドライブまたはSDカードを物理的に破壊するか、市販のデータ消去ソフトなどを使って内蔵ハードディスクドライブまたはSDカード内のデータを完全に消去してから、譲渡／廃棄することをおすすめします。
内蔵ハードディスクドライブおよびSDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

※ カメラのハードディスクやSDカードをフォーマットするときは、カメラ本体で行なってください（⇨ 132ページ）。

内蔵のハードディスクドライブについて

このカメラにはハードディスクドライブが内蔵されています。ハードディスクドライブは、本書中では「HDD」と記述します。HDDは衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすい精密機器です。ご使用の際は、次の点にご注意ください。

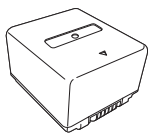
- 動作中、または非動作時に振動、衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- HDDへの書込み、読出し中は電源を切らないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- フォーマットする場合は、保存されている内容を確認してください。
  フォーマットをすると、HDDに保存されていた情報はすべて消失します。データの復帰はできません。
- HDDに保存しているデータは、万一故障したり、変化／消失したりした場合に備えて、こまめにパソコン、CDやDVDにバックアップを取って保存してください。
  HDDに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。

HDDの使い方について

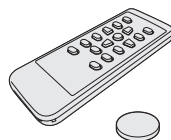
- HDDは定期的に、パソコン、CD、DVDなどにファイルを保存し、フォーマットすることをおすすめします。
  HDDは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合、ファイルの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
  このため内蔵HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまで一度見るまでの、またはパソコンやHDD&DVDレコーダー、CD、DVDなどにコピーするまでの、一時的な保管場所として使用してください。
- HDDは、書き込みと削除を繰り返し行うと、HDD内のファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなります。
  このような状態になると、1つの空き領域にはいりきらないファイルは、ファイルを分割して2つ以上の空き領域に分けて保存されるようになります。
  ファイルの分割保存がふえると、通常の動作が遅くなるだけでなく、場合によっては画像を消去してもファイル保存に必要な空き領域を確保できなくなることがあります。
  このような場合には、HDDを一度フォーマットしてから動画撮影をすると、ファイルの不連続部分がおきにくくなります。ただし、フォーマットをすると記録されている画像や作成したアルバムがすべて消去されますので、必要なファイルはパソコンやHDD&DVDレコーダー、CD、DVDなどにコピーしてからフォーマットしてください。
- HDDに記録できない、HDDの画像がひとつも再生できないなどの不具合が発生したときは、HDDをフォーマットしてください。
- フォーマットすると、HDDを初期状態に戻すことができます。このとき、HDDのすべてのファイルが消去されます。

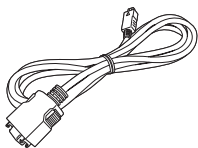
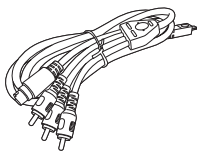
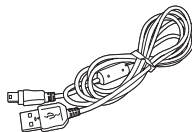
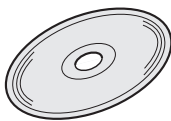
付属品

次の付属品がはいっていることをご確認ください。不足や品違い、破損などがあった場合は、モバイルAVサポートセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。

専用充電式バッテリー
（形名 GSC-BT6）

ACアダプター
（形名 SQPH20W10P-02）

電源コード

リモコン

リモコン用電池

D端子コンポーネントケーブル

AVケーブル

USBケーブル

ソフトウェアCD-ROM
アプリケーションソフトウェア

●取扱説明書（本書）
●クイックヘルプガイド
●安全上のご注意
●保証書／お客様登録のお願い

カメラの取扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（別紙）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 高温または低温のところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ
- 直射日光のあたるところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- 振動の激しいところ

振動・衝撃を与えないようにしてください

強い振動を与えると故障の原因になるだけでなく、HDDに保存したデータが消失することがあります。

砂がかからないようにしてください

砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
海辺や砂地、砂ぼこりがたつ場所などでは、特にご注意ください。

結露にご注意ください

カメラを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
その場合は電源を切り、１時間ほどたってからお使いください。また、SDカードに水滴がついたときは、カメラから取り出し、水滴をふき取ったあとしばらくたってからお使いください。

お手入れするときは

- レンズ、液晶モニターの表面などは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形、塗料がはげるなどの原因となります。

磁気にご注意ください

- カメラのスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが破壊されて、使用できなくなる場合があります。
- 磁石やスピーカーなど、磁気を発するものにカメラを近づけないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

電磁波にご注意ください

電波塔や高圧線の近くでは使用しないでください。動画の画質や音質が悪くなる場合があります。

もくじ

はじめに

準備する

とにかく撮って見る

消去する

撮影の応用

再生の応用

カメラの基本設定

テレビと接続する

パソコンと接続する

付録

準備する

各部のなまえ

本体

オートガイドランプ
（13, 60, 89ページ）
POWERスイッチ（21ページ）
ズームレバー（37ページ）
（逆光補正）ボタン（67ページ）
REC （静止画）ボタン
（35ページ）
（補助光）ボタン（68ページ）
液晶モニター
モードスイッチ
（32, 38ページ）
SDカードスロット
（19ページ）
左から MEDIAランプ
STATUSランプ
再生モードランプ
撮影モードランプ
（13ページ）
ジョグダイヤル
MENUボタン
（42, 43, 91ページ）
▶（OK）ボタン
（13ページ）
オートガイドランプ
REC （動画）ボタン
（32ページ）
AUTOボタン（60ページ）
DISPボタン
（61, 94, 99ページ）
A/V OUT端子
（126, 139ページ）
CHAPTERボタン
（69, 97ページ）
コンポーネントビデオ端子
（126, 138ページ）
DC IN 10V端子（14ページ）
USB端子（112, 148ページ）
HDMI出力端子（117, 126, 127, 136ページ）

▶（OK）ボタンの操作

▶（OK）ボタンは垂直に押して選択されている項目を決定するほかに、上、下、左、右に動かすことができます。
撮影モード時のフォーカス、シーン、フラッシュ設定や明るさ調整、メニュー表示時の項目選択等で▶（OK）ボタンを使います。

本体ランプ（LED）

ランプ名称	色・状態	電源オフ	スタンバイ	撮影モード	再生モード	PCモード	PictBridge
撮影モード	緑点灯	ー	ー	常時	ー	ー	ー
再生モード	緑点灯	ー	ー	ー	常時	ー	ー
STATUS	緑点灯	充電完了	ー	ー	ー	ー	ー
	緑点滅	ー	常時	ー	ー	マウント状態	
	橙点滅	ー	ー	撮影準備中	ー	ー	ー
	赤点灯	充電中	ー	温度異常			
	赤点滅	充電エラー	ー	ハード異常			
MEDIA	赤点滅	ー	ー	メディアアクセス中			
AUTO	青点灯	ー	ー	オートモード時	ー	ー	ー
オートガイド	青点灯	ー	ー	オートモード時	ー	ー	ー
フロント	赤点灯	ー	ー	撮影中	ー	ー	ー
	赤点滅	ー	ー	セルフタイマーカウントダウン	ー	ー	ー

リモコン

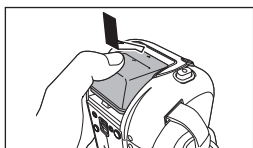
リモコン	本体
MODE REC	モードレバー
MODO PLAY	モードレバー
REC	REC ボタン
REC	REC ボタン
T	ズームレバーT側
W	ズームレバーW側
MENU	MENUボタン
CHAPTER	CHAPTERボタン
DISP	DISPボタン
▲	▶（OK）ボタン上
▼	▶（OK）ボタン下
◀	▶（OK）ボタン左
▶	▶（OK）ボタン右
OK	▶（OK）ボタン押す
	ジョグダイヤル上
	ジョグダイヤル下

充電する

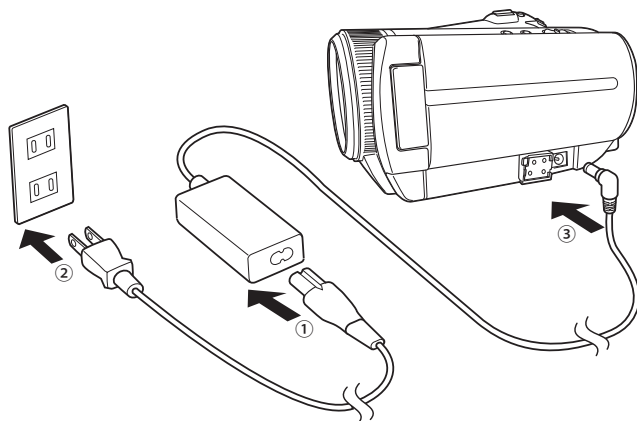
カメラを初めて使うときや、バッテリー残量が少なくなったときはバッテリーを充電してください。
約2時間30分で充電が終わります。充電にかかる時間は、温度などの条件によって増減します。

準備

カメラの電源が切れていることを確認してください。

1 バッテリーを取り付ける

バッテリーを矢印の方向に「カチッ」という音がするまでずらして取り付けます。

2 ACアダプターを接続する

以下の順序でACアダプターを接続します。
① 電源コードとACアダプターを接続する
② 電源プラグをコンセントに差し込む
③ カメラ本体のDC IN 10V端子とACアダプターのDCプラグを接続する

バッテリーの充電に関連して、STATUSランプが以下のように変化します。
　赤点灯 ： 充電中
　緑点灯 ： 充電完了
　赤点滅 ： 充電エラー
充電が終わったらカメラからACアダプターをはずしてください。

- 充電エラーが発生した場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜きます。バッテリーが冷めるまで待って本体から取りはずし、モバイルAVサポートセンターに連絡してください。
- 充電はカメラ本体、または別売の充電器で行います。その他の充電器などでは、絶対に充電しないでください。別売の充電器については、ホームページをご覧ください。
  東芝gigashotホームページ　http://www.gigashot.net/

- バッテリーの性能を十分に発揮させるために、周囲温度が10〜30℃の環境で充電してください。
- バッテリーを充電する前に、放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後は、バッテリーが熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

バッテリー残量表示

電源を入れると、液晶モニターにバッテリー残量が表示されます。

表示	意味
	十分残っています
	少なくなっています
	ほとんど残っていません
	ACアダプターが接続されています

バッテリーでの使用時間について

バッテリーの保存期間、カメラやバッテリーの温度、撮影条件（フラッシュやズーム使用の有無等）によって、バッテリーの消耗は大きく変動します。また、バッテリーの＋極、－極、および電極に接するカメラの端子がよごれていると、電流が流れにくくなり、カメラはバッテリー残量がないものと判断してしまいます。バッテリーを取り付けたりはずしたりするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。よごれていた場合は、乾いた布などでよごれをふき取ってください。
フル充電した新品のバッテリー（GSC-BT6）では、動画撮影時間は次のようになります。

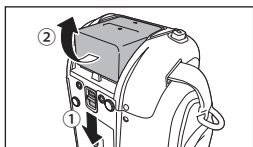
動画連続撮影
　条件：温度23℃、ズーム不使用での連続撮影
　撮影時間：約75分

動画実時間撮影
　条件：温度23℃、電源オン・オフ、ズームを使用した状況での撮影
　撮影時間：約45分

※ ここに記載した動画撮影時間は参考値であり、これを保証するものではありません。

バッテリーをはずす

重要
- バッテリーをはずすときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源がはいった状態でバッテリーを取り出すと、故障やたいせつなデータが破壊される原因となることがあります。また、カメラの設定内容が購入時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定をやり直してください。
- ACアダプターが接続されていない状態でバッテリーロックレバーをスライドすると、自動的に電源が切れます。

1 バッテリーをはずす

バッテリーロックレバーを矢印の方向にスライドさせておきます①。
バッテリーを矢印の方向にずらしてはずします②。

バッテリーについて

このカメラでは、専用の充電式リチウムイオンバッテリーを使用します。本書中では「バッテリー」と記述します。バッテリーをご使用の際は、「安全上のご注意」（別紙）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

バッテリーの取り扱いについて

- バッテリーは出荷時には充電されていません。使用する前に必ず充電してください。
- バッテリーはカメラを使用していなくても、少しずつ自然放電しています。撮影の直前（1日〜2日前）にバッテリーを充電してください。
- しばらくバッテリーを使用しないときは、必ず本体からはずしてください。つけたままにしておくと過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。約3ヶ月取りはずしておくと、日時やその他の設定が初期設定に戻ることがあります（カメラ本体にACアダプターを接続して24時間以上経過した場合）。使用する前に再度設定してください。
- バッテリーを長く持たせるためには、できるだけこまめにカメラの電源を切ることをおすすめします。
- 寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されたバッテリーを使用しても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れて暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。低温のために低下したバッテリーの性能は、常温(約25℃)に戻ると回復します。
- 端子部は常にきれいにしておいてください。
- 長時間、バッテリーを使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。
- 涼しいところに保管してください。周囲の温度が15℃〜25℃の乾燥したところをおすすめします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。
- バッテリーは消耗品です。十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、専用の新しいバッテリーをお求めください。

仕様

リチウムイオンバッテリー(形名 GSC-BT6)
公称電圧 ： 7.2V
公称容量 ： 1200mAh
使用温度 ： 0℃〜＋40℃
本体寸法 ： 37mm × 40mm × 25mm (幅×高さ×奥行き)
質量 ： 約63g

バッテリーのリサイクルについて

不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、−端子の電極に絶縁テープを貼るかポリ袋に入れて、リサイクル協力店にあるリサイクルBOXに入れてください。

Li-ion

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご覧ください。
ホームページ：http://www.jbrc.com

ACアダプターについて

ACアダプターをご使用の際は、「安全上のご注意」（別紙）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

ACアダプターの取扱いについて

- ACアダプターはこのカメラ以外には使用しないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 接続するときは、ACアダプター本体のDCプラグを、カメラ本体のDC IN 10V 端子にしっかり差し込んでください。
- ACアダプターの電源プラグやDCプラグを抜くときは、カメラの電源を切ってください。
- バッテリー動作中にACアダプター本体のDCプラグを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACアダプターは室内専用です。
- 使用中、ACアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプター内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音がはいる場合がありますので、離してお使いください。
- カメラの動作中にバッテリーまたはACアダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。そのときは、日時を設定し直してください。

仕様

ACアダプター(形名 SQPH20W10P-02)

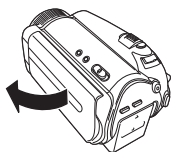
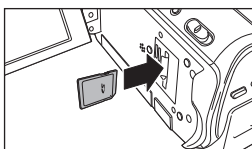
電源	：	AC100V～240V 50/60Hz
定格出力	：	DC10V 2.0A
使用温度	：	0℃～+40℃
保存温度	：	-40℃～+60℃
外形寸法	：	49.5mm×25.5mm×99.5mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量	：	約200g

- 付属の電源コードは日本国内向け（AC100V～125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードを使用してください。

SDHC/SDカードを入れる・取り出す

SDHCメモリーカードおよびSDメモリーカードは別売です。本書中ではSDHCメモリーカードおよびSDメモリーカードを「SDカード」と表記します。

SDカードを入れる

1 液晶モニターを開く

2 SDカードスロットにSDカードを入れる

図のように、切欠き部分をカメラの底面に向け、しっかり奥まで差し込みます。
SDカードがしっかり奥まで差し込まれていることを確認してください。
SDカードを静止画の保存先として指定することができます(74ページ)。

SD カードを取り出す

一度カードを押し込み、カードが少し出てきたら、ゆっくり引き抜きます。

重要

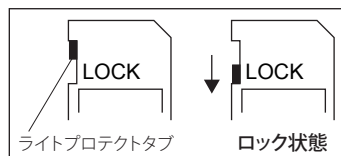
- SDカードに保存中（MEDIAランプが赤点滅中）は、絶対にSDカードを取り出さないでください。SDカードまたはSDカードのデータが破壊されることがあります。
- SDカードを初めて使うときや、他の機器で使ったSDカードを使うときは、撮影する前に必ずこのカメラでフォーマットをしてください。
- このカメラは､MultiMediaCard™（マルチメディアカード）には対応していません。

SDカードについて

ご使用上の注意

- SDカードは不揮発性の半導体メモリーを内蔵しています。通常の使用で記録したデータが破壊（消失）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊（消失）することがあります。記録されたデータの破壊（消失）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いません。
- SDカードはメモリ容量の一部を著作権保護機能などの管理領域として使用しているため、ご使用いただけるメモリ容量は表示容量より少なくなっています。ご使用いただけるメモリ容量は、SDカードのメーカーや種類によって異なります。
- SDカードをフォーマットする場合は、必ずこのカメラでフォーマットをしてください。他の機器（パソコンなど）でフォーマットをすると、データの書込み、または読出しができないなどの不具合が発生することがあります。
- たいせつなデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- SDカードには寿命があります。長期間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合は、新しいSDカードをお求めください。
- 小さいお子様の誤飲に気をつけてください。窒息の危険性があります。
- このカメラは、SD規格Ver.2.0に準拠しています。

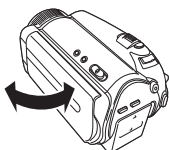
誤消去防止について

たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態（書込み禁止状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

- 市販されているすべてのSDカードでの動作を保証するものではありません。

電源を入れる・切る

準備

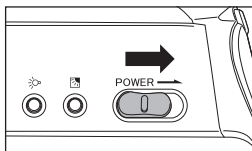
バッテリーを取り付ける（ 14ページ）、またはACアダプターを接続（ 14ページ）してください。

液晶モニターの開閉で電源を入れる・切る

液晶モニターを開閉して、カメラの電源を入れたり切ったりします。

液晶モニターを開く　　：カメラの電源を入れる
液晶モニターを閉じる　：カメラの電源を切る

日時設定がされていないときは、電源を入れた後に日時設定の画面が表示されます。(22ページ)

- ［液晶連動POWER］（ 123ページ）が［オフ］になっていると、液晶モニターを開閉して電源を入れたり切ったりすることはできません。POWERスイッチをスライドして電源を入れたり切ったりしてください。
- 液晶モニターを閉じているときの電源の状態は､モードランプで確認してください｡
- ［クイック起動］（ 124ページ）を［オン］にすると、すばやく起動することができます。

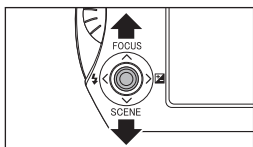
POWER スイッチで電源を入れる・切る

POWERスイッチをスライドして、カメラの電源を入れたり切ったりします。

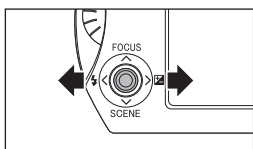
- 一定時間、カメラを操作しないと電池の消耗を防ぐために電源が切れます。このことをオートパワーオフ（ 122ページ）といいます。
- システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、POWERスイッチを5秒以上スライドし続けます。このとき、作成中のデータは消失する可能性があります。また、日付・時刻やその他の設定が初期設定に戻ることがありますので、使用する前に再度設定してください。
- ［クイック起動］（ 124ページ）を［オン］にすると、すばやく起動することができます。

- ACアダプターが接続されていない状態でバッテリーロックレバーをスライドすると、自動的にカメラの電源が切れます。

日付・時刻を合わせる

カメラを初めて使うときや、バッテリーを取り出したまま放置したときなど、日時が設定されていないときは、自動的に日時設定の画面が表示されます。

1 ［日付］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［日付］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 年、月、日を設定する

▶（OK）ボタンを左右に動かして［年］を選び、ジョグダイヤルを回して値を変更します。
［月］、［日］も同様に設定したら、▶（OK）ボタンを押します。

3 時刻、書式を設定する

同様に、時刻と書式を設定します。

4 日時を決定する

すべてを設定したら、［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。
カメラを初めて使うときは、日時設定をすると、アルバム作成画面に切り換わります。アルバムを作成してください（⇨ 23ページ）。
すでにアルバムが作成されているときは、撮影モードに切り換わります。

メモ
- 表示される年月日の順番は、選んだ書式によって変わります。書式は［YYYY.MM.DD］、［MM/DD/YYYY］、［DD/MM/YYYY］の3 種類です。
- セットアップメニューから［日時設定］を選んだときは、日時設定を終了すると、セットアップメニューに戻ります。
- セットアップメニューから［日時設定］を選んだときは、日時設定画面に［キャンセル］ボタンが表示されます。

HDDにアルバムを作成する

カメラを初めて使うときや、HDD をフォーマット（132ページ）したときなど、ドライブの中にアルバムがないときは、自動的にアルバム作成の画面が表示されます。

1 アルバムの種類を選ぶ

ジョグダイヤルを回してアルバムの種類を選び、▶（OK）ボタンを押します。
アルバムが作成され、撮影モードに切り換わります。

メモ
- DISPボタンを押して画面を詳細表示にすると、作成したアルバムの種類と番号を確認することができます。

アルバムの種類※

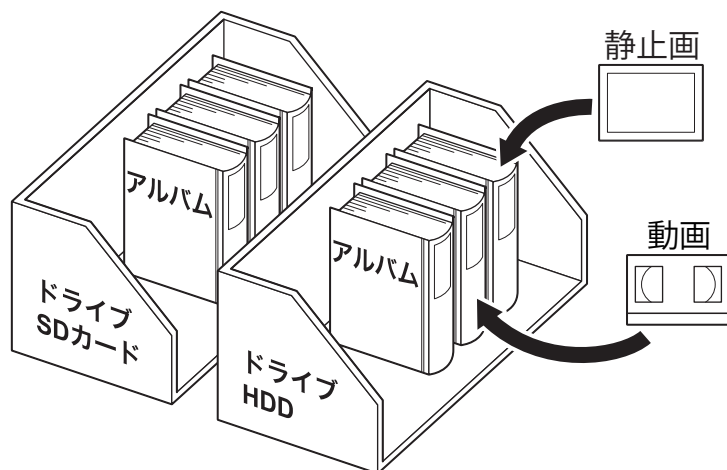
アルバムには次の種類があります。

アイコン	名前	アイコン	名前	アイコン	名前
	BABY（赤ちゃん）		KIDS（子供）		FAMILY（家族）
	PET（ペット）		TRAVEL（旅行）		SPORTS（スポーツ）
	ANNIVERSARY（記念日）		PARTY（パーティ）		WEDDING（結婚式）
	EVENT（イベント）		BUSINESS（仕事）		NON GENRE（ジャンルなし）

※アルバムの種類は、予告なく追加または削除する場合があります。

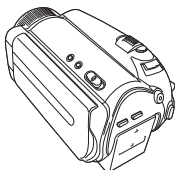
アルバムとドライブ

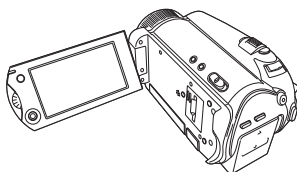
アルバムは、撮影した画像を保存するために必要なものです。撮影する日時や場面に応じて（旅行やペットなど）種類を選ぶことができます。

ドライブは、アルバムをしまっておく場所を指します。
このカメラでは、HDDとSDカードの2ヶ所です。

メモ
- SDカードに動画を記録することはできません。ただし、HDDの動画をSDカードにコピーすることはできます。（107ページ）。

液晶モニターの使い方

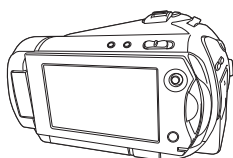
目的に応じて、さまざまなポジションで使うことができます。

オフポジション

・カメラの電源を切っているとき
・撮影の待機をしているとき
・カメラを充電しているとき

ノーマルポジション

・撮影・再生するとき

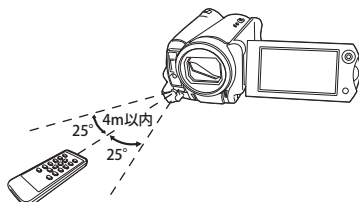
自分撮りポジション※1※2

・液晶モニターを見ながら自分を撮影したいとき
※1 自分撮りポジションでは、液晶モニターに表示される画像は鏡のように左右が逆になりますが、記録される画像は、実際の被写体と同じです。

ビューワーポジション※2

・再生するとき
※2 自分撮りポジションとビューワーポジションで、十字キーの向きが180℃回転します。

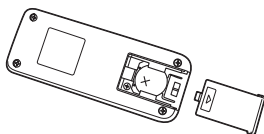
リモコンについて

リモコンを使うと、離れた場所から撮影・再生できます。

使用できる範囲

リモコンは、次の範囲で使用できます。
・距離：カメラから約4m以内
・角度：カメラのリモコン受光部に対し、上下左右約25度以内

リモコンの操作範囲は室内で使うときの値です。
屋外やリモコン受光部に強い光があたっているときは、上記範囲内であっても操作できない場合があります。

- 落とす、激しく振るなどの強い衝撃をあたえないでください。
- 水をこぼさないでください。
- 分解しないでください。
- 高温多湿の場所に置かないでください。

電池を入れる

電池は、付属のコイン形リチウム電池CR2025を使います。
リモコン背面下部の電池カバーをスライドして開きます。
（＋）を上向きにして電池を入れ、電池カバーを閉めます。

- リモコンの反応がにぶくなったり、反応しなくなったりした場合は、電池を交換してください。
- 使用期限を過ぎた電池は使用しないでください。
- リモコンの電池は充電できません。
- 電池が液もれした場合は、新しい電池と交換する前に、リモコンについた液を完全にふき取ってください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池の（＋）と（－）を逆向きに挿入しないでください。
- 電池を充電・加熱・分解したり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。
- 使い切った電池をリモコンの中に入れたままにしないでください。
- 電池は幼児や小さな子供の手の届く場所に置かないでください。

やりたいことから探せるカンタンガイド

動画の見たい場面を
頭出ししたい

チャプターを作成する
69ページ
チャプターを分割する
97ページ

動画撮影で風切り音を
低減したい

風の音をカットする
84ページ

動画をできるだけ長く
撮影したい

動画の画質を設定する
75ページ

撮影した画像を
TVで見たい

テレビと接続する
135ページ

撮影した画像を
一覧表示したい

一覧表示する
95ページ

夜景を撮影したい

撮影シーンを設定する
62ページ

感度を上げて
撮影したい

感度を上げる
82ページ

見た目と撮影する画像の
色を合わせたい

自然な色合いで撮影する
79ページ

手動で
ピントを合わせたい

マニュアルフォーカスを使う
65ページ

セルフタイマーを使って
撮影したい

セルフタイマーで撮影する
77ページ

とにかくカンタンに
撮影したい

オートモードで撮影する
60ページ

ズームを使って被写体を
際立たせたい

ズームを使う
37ページ

……動画でできること

……静止画でできること

画像を一度に消去したい

消去する
45ページ

撮影した画像を
自動再生したい

オートプレイ
110ページ

静止画を回転させたい

静止画を回転表示する
102ページ

画像をHDDから
SDカードに移したい

画像をコピーする
107ページ

カメラから直接
プリンターで印刷したい

カメラから直接プリントする
111ページ

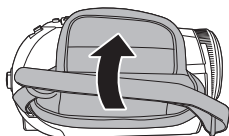
カメラの画像をパソコンに
バックアップしたい

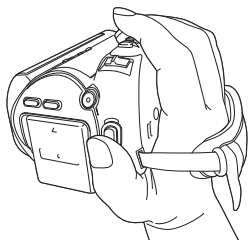
カメラの画像をパソコンに
バックアップする
148ページ

……動画でできること

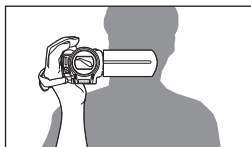
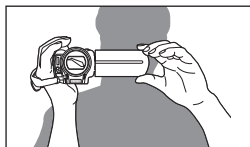
……静止画でできること

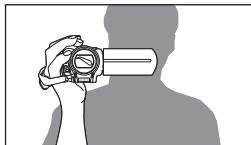
とにかく撮って見る

撮影の前に

グリップベルトを調節する

グリップベルトを調整すると、カメラをしっかり固定することができます。
グリップベルトのマジックテープをはずし、右手で本体を持ち、親指をREC 🎥 ボタン、人差し指をズームレバーに置いた状態でベルトの長さを調整してください。
調整後、しっかりとマジックテープで固定してください。

カメラの構え方

撮影するときはグリップベルトに手をとおし、本体をしっかり持ち、レンズ、フラッシュに指がかからないように構えてください。
動画撮影中にカメラを動かす場合は、急激に動かさないようにします。
例えば、カメラを左右に動かすときは、カメラが上下にぶれないように手首を固定して、体をゆっくり回しながら撮影します。

良い例（片手）

良い例（両手）

片手で持つときは、カメラ本体をグリップベルトで固定し、脇をしっかりしめて持ってください。
さらに、左手で液晶モニター部分を支えると、安定します。

悪い例

レンズやフラッシュに指がかからないようにしてください。

撮影モードの画面

DISPボタンを押すたびに画面表示は「通常表示」→「非表示」→「ガイド表示」→「詳細表示」→「通常表示」の順に切り替わります（⇨61ページ）。

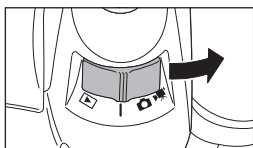
1　動画マーク
2　動画記録可能時間（⇨75ページ）
3　アルバムアイコン（⇨23ページ）
4　アルバム番号
5　セルフタイマー（⇨77ページ）
6　静止画マーク
7　静止画記録可能枚数（⇨76ページ）
8　電池残量（⇨15ページ）
9　静止画サイズ（⇨76ページ）
10　連写（⇨78ページ）
11　フラッシュ（⇨64ページ）
12　シーン（⇨62ページ）
13　フォーカス（⇨65ページ）
14　逆光補正（⇨67ページ）
15　明るさ（⇨66ページ）
16　時刻（⇨22ページ）
17　日付（⇨22ページ）
18　水平垂直ガイド（⇨61ページ）
19　オートモード（⇨60ページ）
20　ズームバー（⇨86ページ）
21　補助光（⇨68ページ）
22　手ぶれ補正（⇨83ページ）
23　感度アップ（⇨82ページ）
24　ホワイトバランス（⇨79ページ）
25　動画クオリティ（⇨75ページ）

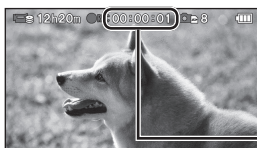
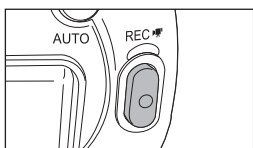
動画を撮影する

- カメラの動作中、特に撮影後の画像保存中は、ACアダプターの抜き差し、バッテリーの取りはずし、SDカードの取り出しはしないでください。カメラが故障したり、HDDやSDカードおよびその中のデータが破れたりする場合があります。
- このカメラで長時間撮影する場合に、特に高温環境ではカメラが熱くなることがありますので、低温やけどにご注意ください。長時間撮影する場合は、三脚の使用をおすすめします。
- 直接太陽を撮影すると故障の原因となる場合があります。

準備

バッテリーがカメラに取り付けられていることを確認し、電源を入れてください。
落下防止のため、グリップベルトを使用してください（30ページ）。

1 撮影モードにする

モードスイッチを矢印の方向へスライドして撮影モードにします。

2 動画撮影を開始する

REC ボタンを押すと動画の撮影がはじまります。
動画撮影中は、フロントランプが点灯します。

撮影経過時間

3 動画撮影を終了する

動画撮影中にREC ボタンを押すと、動画撮影を終了しファイルを保存します。

- 液晶モニターを自分撮りポジション（➡ 25ページ）にすると、液晶モニターに表示される画像が鏡のように左右が逆になります。ただし、ボタンやキーを操作すると一時的に通常表示に戻ります。
- 動画撮影では、静止画撮影より電池の消耗が早くなることがあります。
- フォーカス（➡ 65ページ）を合わせるときのレンズ動作音や、ズームレバー操作中（➡ 37ページ）のレンズ動作音が動画データに記録されることがあります。
- 動画ファイルの上限サイズは4GB※です。動画撮影中に、ファイルサイズが4GBに近づくと、10分前からカウントダウン表示が始まります。そのまま動画撮影を続けた場合は、自動的に撮影を停止して動画ファイルを作成したあと、撮影が再開されます（連続記録）。作成された動画ファイルは4GBより多少小さくなります。
- 連続記録は8ファイル、または4時間までです。どちらか先に達した段階で、自動的に撮影を終了します。連続記録されたファイルは、カメラ内では一つのタイトルとして扱います。
- 連続記録された動画タイトルを、付属のソフトウェア「ImageMixer™ 3 for TOSHIBA」（➡ 142ページ）で再生すると、ファイルとファイルの継ぎ目で映像が一瞬途切れることがあります。
- 一つのアルバム（➡ 24ページ）に撮影できる動画および静止画は1,000ファイルです。
- 一つのドライブ（➡ 24ページ）に撮影できる動画および静止画は9,999ファイルです。

※1GBを10億バイトで計算した数値です。

ファイルとタイトル

ファイルとは、記録された動画や静止画のデータのまとまりで管理上の最小単位です。
タイトルとは、連続記録によって関連付けられたファイルの集まりです。連続記録されていないファイルは、1ファイル=1タイトルとなります。

ファイルとタイトルの構成例

ファイル	1ファイル＝1タイトル

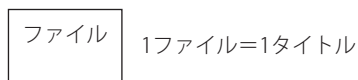
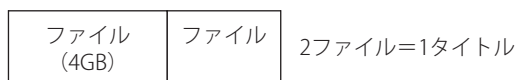
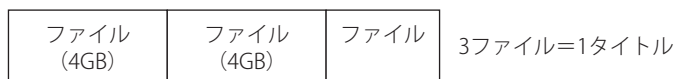
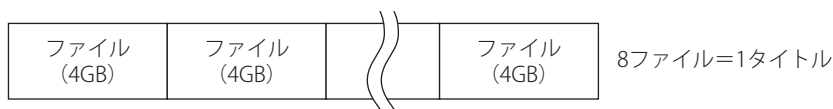
動画撮影開始　REC ボタンで動画撮影終了

ファイル（4GB）	ファイル	2ファイル＝1タイトル

動画撮影開始　REC ボタンで動画撮影終了

ファイル（4GB）	ファイル（4GB）	ファイル	3ファイル＝1タイトル

動画撮影開始　4時間経過で動画撮影終了

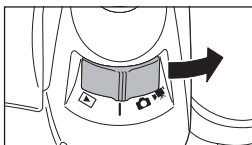
ファイル（4GB）	ファイル（4GB）	～	ファイル（4GB）	8ファイル＝1タイトル

動画撮影開始　連続記録8ファイルで動画撮影終了

動画撮影前/撮影中のボタン操作

状態 / ボタン・レバー	撮影前	撮影中
REC ボタン	動画撮影開始	動画撮影終了
REC ボタン半押し	AF/AEロック（35ページ）	―
REC ボタン全押し	静止画を撮影（35ページ）	
ズームレバーT側	ズーム望遠（37ページ）	
ズームレバーW側	ズーム広角（37ページ）	
AUTOボタン	オートモード（60ページ）	―
DISPボタン	画面表示変更（61ページ）	
CHAPTERボタン	―	チャプター作成（69ページ）
ボタン	逆光補正オン／オフ（67ページ）	
ボタン	補助光オン／オフ（68ページ）	
▶（OK）ボタン上	フォーカス変更　AF/MF（65ページ）	
▶（OK）ボタン下	シーン設定（62ページ）	―
▶（OK）ボタン左	フラッシュ設定（64ページ）	―
▶（OK）ボタン右	明るさ設定（66ページ）	
▶（OK）ボタン押す	―	
MENUボタン	撮影メニュー表示 （42ページ）	液晶の明るさ設定 （91ページ）

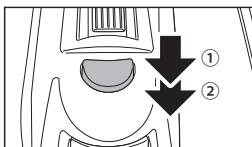
ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタル（159ページ）の目の覚めるような音質でステレオ音声のDVD ビデオを作成することができるようになります。
この技術をPCM 記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。
ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングしたDVDはすべてのDVDプレーヤーで再生することが可能です。

静止画を撮影する

1 撮影モードにする

モードスイッチを矢印の方向へスライドして撮影モードにします。

2 構図を決める

液晶モニターを見ながら構図を決めます。

3 撮影する

① REC [カメラ] ボタンを半押しすると、自動的にピントと露出を合わせます。ピントが合うと緑、合っていないと赤でフォーカスエリア枠が表示されます。
② そのまま全押しすると静止画が撮影されます。

メモ

- REC [カメラ] ボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、液晶モニターの画像が暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電に数秒かかることがあります。フラッシュ充電中はSTATUSランプがオレンジ色に点滅し、撮影はできません。
- 被写体が暗い場合、 REC [カメラ] ボタン半押しでピント合わせの補助光を点灯させることができます（➡ 88ページ）。
- 一つのアルバムに撮影できる動画および静止画は1,000ファイルです。
- 一つのドライブに撮影できる動画および静止画は9,999ファイルです。

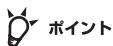
とにかく撮って見る

ピントについて

ピントは、REC 📷 ボタン半押しで表示されるフォーカスエリア枠の色で判断します。
ピントが合っているときは緑色、ピントが合っていないときは赤色で表示されます。

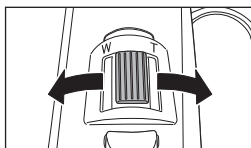
● このカメラは、以下のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。
・被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
・鏡、車のボディーなど光沢があるもの
・髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
・コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同色の服を着ている人物など）
・高速で移動する被写体
・煙や炎などの実体のないもの
・ガラス越しの被写体
・被写体が遠くて小さいとき
・極端に明るいもの（ライトなど）
・暗いところ

ズームを使う

被写体との距離に応じて、10倍光学ズーム、光学ズームとデジタルズーム（⇨ 86ページ）を組み合わせて20倍または80倍までのズーム撮影ができます。

- 光学ズームで望遠にすると、背景をぼかして撮影することができます。

気をつけよう

- 望遠にすればするほど、手ぶれしやすくなります。

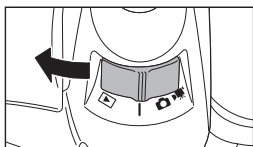
1 ズームする

液晶モニターを見ながらズームレバーで調整します。
T 側にスライドすると望遠になり、遠くにあるものを大きく撮影できます。ピントが合う被写体の距離は、約1.0m以上です。
W 側にスライドすると広角になり､広い範囲を撮影できます。ピントが合う被写体の距離は、約1cm以上です。
光学ズームのときはスライダーが青、デジタルズーム（⇨ 86ページ）のときはスライダーが赤で表示されます。

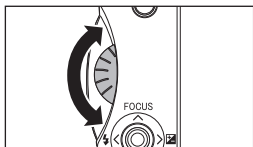
- デジタルズームは、撮影メニューで20倍／80倍／オフを設定できます（⇨ 86ページ）。
- 電源を切るか、オートパワーオフが働くと、ズームの倍率は広角側いっぱいに戻ります。
- シーン設定で［ステージ］を選ぶと、ズームの広角位置を指定して制限することができます（⇨ 63ページ）。

再生する

準備

バッテリーがカメラに取り付けられていることを確認し、電源を入れてください。

1 再生モードにする

モードスイッチを矢印の方向へスライドして再生モードにします。
最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

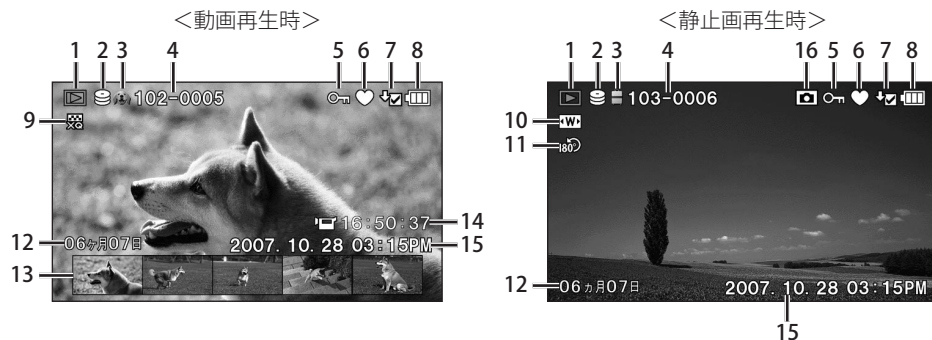
2 再生したい画像を選ぶ

＜動画＞

＜静止画＞

ジョグダイヤルを回して再生したい画像を選びます。
複数のアルバムにまたがって、ドライブ内のすべての画像を再生できます。

カメラを回転して撮影した静止画は、最初から回転した状態で再生されます。
現在表示されている画像とは別のドライブ（24ページ）に再生したい画像が保存されている場合は、再生するドライブを切り換えます（96ページ）。

再生モードの画面

DISPボタンを押すたびに画面表示は「通常表示」→「非表示」→「ガイド表示」→「詳細表示」→「通常表示」の順に切り替わります（94ページ）。

＜動画再生時＞

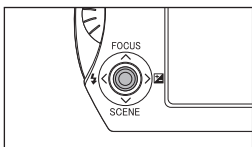
＜静止画再生時＞

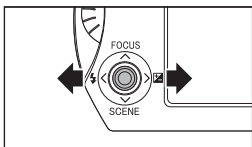
1 再生マーク
2 ドライブ（24ページ）
3 アルバムアイコン（23ページ）
4 アルバム番号／ファイル番号
5 プロテクトマーク（103ページ）
6 お気に入りマーク（99ページ）
7 バックアップ（148ページ）
8 電池残量（15ページ）
9 動画クオリティ（75ページ）
10 静止画サイズ（76ページ）
11 回転表示（102ページ）
12 成長記録（114ページ）
13 チャプター画面（98ページ）
14 再生トータル時間
15 日時（22ページ）
16 静止画アイコン

動画を再生する

準備

再生したい動画を表示する。

1 ▶（OK）ボタンを押す

動画再生ガイドが表示されます。

2 ［はい］または［いいえ］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左右に動かして［はい］または［いいえ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。
このカメラに慣れていないうちは［はい］を選んでください。

このカメラに慣れて再生方法を十分に理解した人は［いいえ］を選ぶと、次回の再生からこの画面は表示されません。
［いいえ］を選んで動画再生ガイドが表示されなくなっても、再生メニューの［表示設定］→［動画再生ガイド］を［オン］にすれば、再び表示されるようになります。

メモ
- 動画再生では、静止画再生よりも電池の消耗が早くなることがあります。

〈動画再生中の画面〉

〈一時停止中の画面〉

動画再生時のボタン操作

ボタン・レバー ＼ 状態	停止中	一時停止中	再生中	早送り中	早戻し中
▶（OK）ボタン押す	再生		一時停止	再生	
▶（OK）ボタン上	―	ワンタッチスキップ			
▶（OK）ボタン下	チャプター選択（98ページ）	停止			
▶（OK）ボタン左	前の画像を表示	チャプタースキップ（前方）			
▶（OK）ボタン右	次の画像を表示	チャプタースキップ（後方）			
ジョグダイヤル上	前の画像を表示	コマ送り	早送り	早送りのスピードアップ	早戻しのスピードダウン
ジョグダイヤル下	次の画像を表示	コマ戻し	早戻し	早送りのスピードダウン	早戻しのスピードアップ
ズームレバーT側	―	音量アップ		―	
ズームレバーW側	階層表示	音量ダウン		―	
DISPボタン	画面表示変更（94ページ）				
CHAPTERボタン	チャプター選択（98ページ）	チャプター分割（97ページ）		―	
REC ボタン	お気に入り設定（99ページ）		―		
MENUボタン	再生メニュー表示（43ページ）		―		

トリック再生

通常の再生以外のさまざまな動画再生の方法をトリック再生と呼びます。

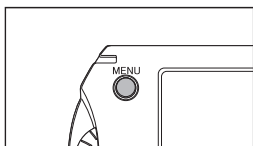
一時停止　：再生を一時停止します。
早送り　：高速で再生します。速度は3段階です。
早戻し　：高速で逆再生します。速度は3段階です。
コマ送り　：一定コマ数おきに再生します。
コマ戻し　：一定コマ数おきに逆再生します。
ワンタッチスキップ　：全体の1/20ずつ前方にスキップします。
チャプタースキップ　：チャプターの先頭にスキップします。

メモ
- SDカードにコピーした動画をカメラで再生すると、スムーズに再生されない場合があります。

メニューの機能を使う

メニューを表示して、いろいろな機能を使ったり、設定を変更したりできます。

撮影メニューを表示する

1 撮影モードでMENUボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

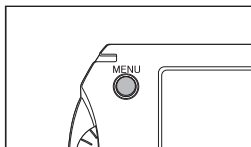
撮影メニュー

メニュー名	概要	適用画像	参照
消去※	画像の消去	🎥 📷	45
保存先※	画像の保存先選択とアルバムの作成	🎥 📷	72
動画クオリティ※	動画の画質設定	🎥	75
静止画サイズ※	静止画のサイズ設定	📷	76
セルフタイマー※	セルフタイマーの設定	🎥 📷	77
連写	連続撮影の設定	📷	78
ホワイトバランス	ホワイトバランスの設定	🎥 📷	79
x.v.Color	x.v.Color機能のオン／オフ	🎥	81
感度アップ	撮影感度アップのオン／オフ	🎥 📷	82
手ぶれ補正	手ぶれ補正機能のオン／オフ	🎥	83
風音低減	風音低減機能のオン／オフ	🎥	84
マイク感度	マイク感度の設定	🎥	85
デジタルズーム	デジタルズームの倍率設定	🎥 📷	86
測光方式	画像の明るさを計算する測光方式の設定	🎥 📷	87
AF補助光	ピント合わせ用補助光のオン／オフ	📷	88
オートガイドランプ※	オートモード時点灯のガイドランプのオン／オフ	🎥 📷	89
液晶の明るさ※	液晶の明るさ設定	－	90
セットアップ※	セットアップメニューの表示	－	119

※ オートモード時に表示されるシンプルメニューの項目

- 動画撮影中は撮影メニューを表示できません。
- オートモードにすると、消去、保存先、動画クオリティ、静止画サイズ、セルフタイマー、オートガイドランプ、液晶の明るさ、セットアップ、8項目のシンプルメニューになります。

再生メニューを表示する

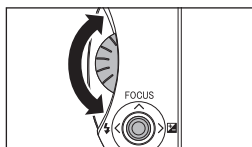
1 再生モードでMENUボタンを押す

再生メニューが表示されます。

再生メニュー

メニュー名	概要	適用画像	参照
消去	画像の消去	🎥 📷	45
プロテクト	画像を保護して、読み出し専用にする	🎥 📷	103
コピー	画像のコピーをする	🎥 📷	107
動画連続再生	複数動画の連続再生オン／オフを設定する	🎥	109
オートプレイ	オートプレイする画像の設定、およびオートプレイの実行	🎥 📷	110
PictBridge	カメラから直接プリンターへ印刷する	📷	111
表示設定	成長記録、動画再生ガイド、時間表示の表示／非表示	🎥 📷	114
HDMI連動	カメラとテレビをHDMI接続したときの連動機能のオン／オフ	🎥 📷	117
液晶の明るさ	液晶の明るさ設定	—	90
セットアップ	セットアップメニューの表示	—	119

- 動画再生中は再生メニューを表示できません。
- 一覧表示からも再生メニューを表示できます。

セットアップメニューを表示する

1 撮影メニュー、または再生メニューで［セットアップ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［セットアップ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

セットアップメニュー

メニュー名	概要	参照
サウンド	カメラの起動・終了音や操作音のオン／オフを設定	120
誕生日設定	子供（など）の誕生日を設定し、成長記録表示に反映	121
オートパワーオフ	自動的に電源オフにする設定	122
液晶連動POWER	液晶モニターの開／閉と電源の入／切の連動を設定	123
クイック起動	スタンバイとクイック起動の設定	124
映像出力端子	映像機器への出力端子を設定	126
HDMI出力	HDMI出力方式の設定	127
出力テレビ	映像を出力するテレビの画面縦横比を設定	128
LANGUAGE	画面表示の言語を設定	129
日時設定	日時と日時表示形式の設定	22
システム	システムのリセットやドライブのフォーマット実行など	130

メニュー表示時のボタン操作

画面 / ボタン・レバー	メニュー項目表示時	設定項目表示時
モードスイッチ 🎥 📷	撮影できる状態に戻る	
モードスイッチ ▶	再生に戻る	
▶（OK）ボタン押す	選択されている項目に決定	
▶（OK）ボタン上	上の項目を選択	
▶（OK）ボタン下	下の項目を選択	
▶（OK）ボタン左	―	前の画面に戻る
▶（OK）ボタン右	選択されている項目に決定	―
ジョグダイヤル上	上の項目を選択	
ジョグダイヤル下	下の項目を選択	
MENUボタン	メニューを表示する前の状態に戻る	設定をキャンセルしてメニュー画面に戻る

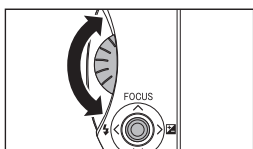
消去する

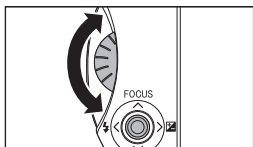
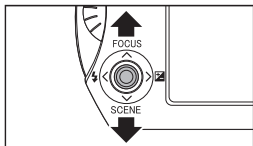
画像をひとつずつ消去する

画像をひとつずつ消去します。ただし、保護（プロテクト103ページ）されている画像やロック状態（20ページ）になっているSDカード内の画像は消去できません。

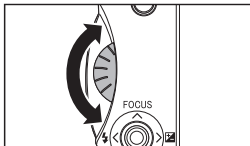
気をつけよう

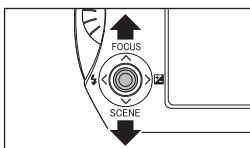
- 一度消去した画像は元に戻せません。

1 撮影メニュー（42ページ）または再生メニュー（43ページ）から［消去］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［消去］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［1画像］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［1画像］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして消去したい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

4 消去したい画像を表示する

ジョグダイヤルを回して消去したい画像を表示します。
消去する画像がバックアップ（148ページ）されていない場合は、以下のメッセージが表示されます。
「この画像はバックアップされていません　この画像を消去しますか？」

5 ［はい］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［はい］を選び、▶（OK）ボタンを押します。
表示されている画像が消去され、前の画像が表示されます。

［いいえ］を選ぶと、表示されている画像を消去せずに前の画像を表示します。
［終了］を選ぶと再生メニューに戻ります。

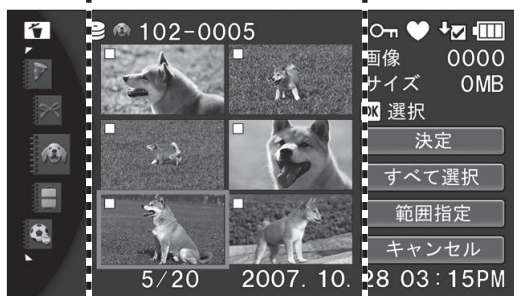
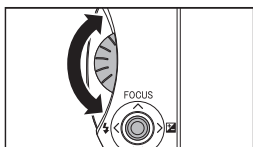
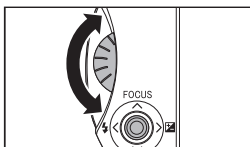
画像をまとめて消去する

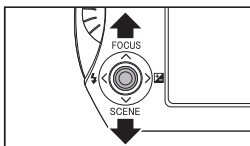
複数の画像をまとめて消去します。ただし、保護（プロテクト➪103ページ）されている画像やロック状態（➪20ページ）になっているSDカード内の画像は消去できません。

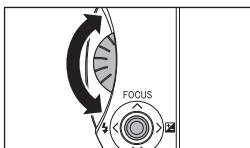
気をつけよう

● 一度消去した画像は元に戻せません。

画像選択画面

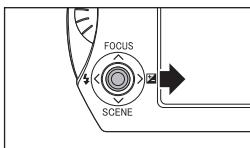
画像選択画面は、3つのエリアに分かれています。
▶（OK）ボタンを左右へ動かすと、隣のエリアへ移動することができます。
画面には画像が6個ずつ表示されます。画像が7個以上ある場合は、次のページに表示されます。
各エリア内では、ジョグダイヤル、または、▶（OK）ボタンを上下に動かして選択します。
画像を選択するには、いろいろな方法があります。

1 撮影メニュー（➪42ページ）または再生メニュー（➪43ページ）から［消去］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［消去］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［画像選択］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［画像選択］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

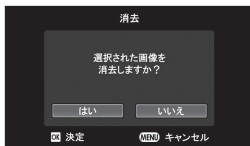
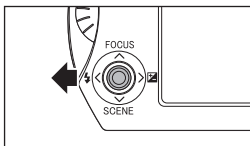
▶（OK）ボタンを上下に動かして消去したい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

4 消去したい画像を選択する

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かして消去したい画像にカーソルを移動し、▶（OK）ボタンを押します。消去したい画像にチェックマーク☑が付きます。
この操作を繰り返して、消去したいすべての画像にチェックマーク☑を付けます。

画像を選択するには、このほかにもさまざまな方法があります。以下のページを参照してください。画像選択後は、手順5へすすみます。

・アルバム内のすべての画像を選択する ⇨50ページ
・範囲を指定して画像を選択する ⇨51ページ
・複数のアルバムにまたがって画像を選択する ⇨52ページ

5 ［決定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを右に動かして［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

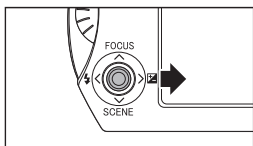
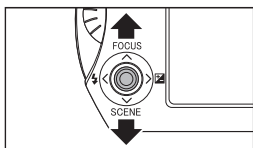
6 ［はい］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左に動かして［はい］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

アルバム内のすべての画像を選択する

アルバム内のすべての画像にチェックマーク☑を付けます。

準備

アルバム内の画像にひとつもチェックマーク☑が付いていない状態にする。

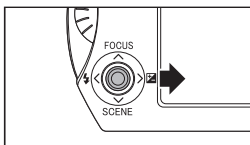
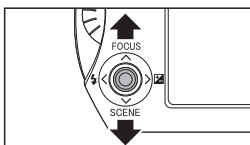
1 カーソルを機能選択エリアに移動する

▶ (OK) ボタンを右に動かして、カーソルを機能選択エリアに移動します。

2 ［すべて選択］を選ぶ

▶ (OK) ボタンを上下に動かして［すべて選択］を選び、▶ (OK) ボタンを押します。
アルバム内のすべての画像にチェックマーク☑が付きます。
アルバム内の画像にひとつでもチェックマーク☑が付くと、［すべて選択］は［すべて解除］に変わります。
［すべて解除］を選ぶと、アルバム内のすべての画像のチェックマーク☑が消えます。

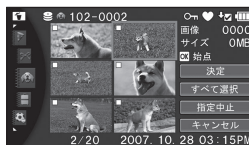
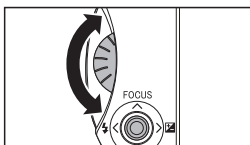
メモ
- ［すべて選択］［すべて解除］は、アルバム内の画像にだけ有効です。他のアルバムの画像には影響しません。
- アルバム内の画像をすべて消去しても、アルバムは残ります。アルバムを消去する場合は、メニューで［消去］→［アルバム選択］(☞53ページ) を選びます。

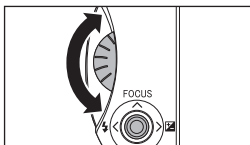
範囲を指定して画像を選択する

「ここからここまで」の画像にチェックマーク☑を付けます。

1 カーソルを機能選択エリアに移動する

▶（OK）ボタンを右に動かして、カーソルを機能選択エリアに移動します。

2 ［範囲指定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［範囲指定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

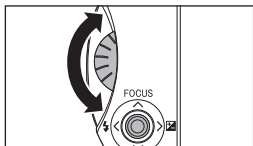
3 始点の画像を選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かして範囲指定の始点の画像を選び、▶（OK）ボタンを押します。
始点の画像には黄色の枠が付きます。

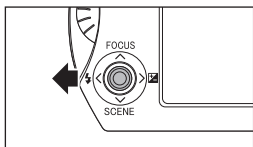
4 終点の画像を選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かして範囲指定の終点の画像を選び、▶（OK）ボタンを押します。
始点から終点までの画像にチェックマーク☑が付きます。

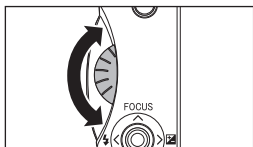
メモ
- ［範囲指定］は、複数のアルバムにまたがって指定することはできません。
- ［範囲指定］は、アルバム内の複数のページにまたがって指定することができます。

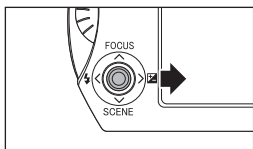
複数のアルバムにまたがって画像を選択する

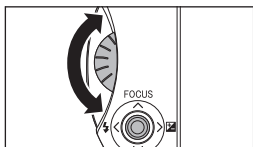
複数のアルバム内の画像にチェックマーク☑を付けます。

1 消去したい画像を選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶(OK)ボタンを上下左右に動かして、消去したい画像にカーソルを移動し、▶(OK)ボタンを押します。

2 アルバム確認エリアにカーソルを移動する

▶(OK)ボタンを左に動かして、カーソルをアルバム確認エリアに移動します。

3 アルバムを変更する

ジョグダイヤルを回して表示するアルバムを変更します。

4 画像選択エリアにカーソルを移動する

▶(OK)ボタンを右に動かして、画像選択エリアのサムネイルにカーソルを移動します。

5 消去したい画像を選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶(OK)ボタンを上下左右に動かして、消去したい画像にカーソルを移動し、▶(OK)ボタンを押します。

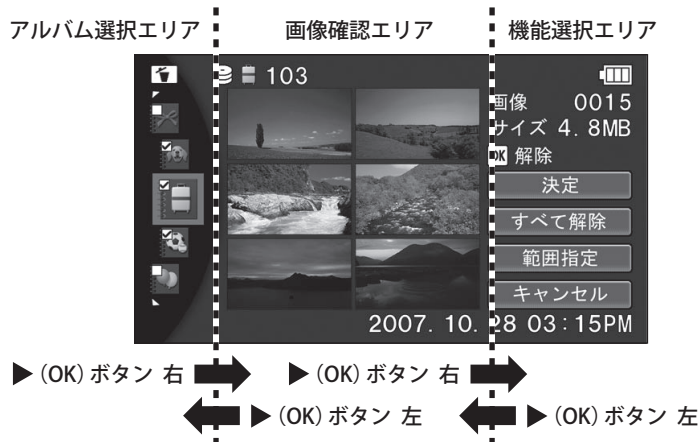
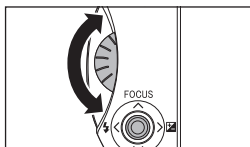
アルバムごと消去する

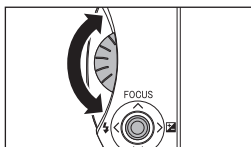
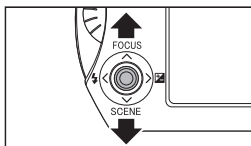
アルバムとアルバムの中の画像をまとめて消去します。ただし、保護（プロテクト ⇨ 103ページ）されている画像やロック状態（⇨ 20ページ）になっているSDカード内の画像は消去できません。

気をつけよう

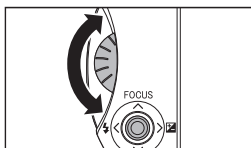
- 一度消去した画像は元に戻せません。

アルバム選択画面

アルバム選択画面は、3つのエリアに分かれています。
▶（OK）ボタンを左右へ動かすと、隣のエリアへ移動することができます。
各エリア内では、ジョグダイヤル、または▶（OK）ボタンを上下に動かして選択します。
アルバムを選択するには、いろいろな方法があります。

1 撮影メニュー（⇨ 42ページ）または再生メニュー（⇨ 43ページ）から［消去］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［消去］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

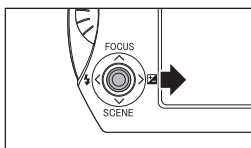
2 ［アルバム選択］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［アルバム選択］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

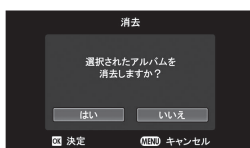
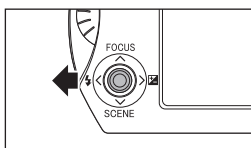
▶（OK）ボタンを上下に動かして消去したい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

4 消去したいアルバムを選択する

ジョグダイヤルを回して消去したいアルバムにカーソルを移動し、▶（OK）ボタンを押します。
消去したいアルバムにチェックマーク☑が付きます。
この操作を繰り返して、消去したいすべてのアルバムにチェックマーク☑を付けます。

アルバムを選択するには、このほかにもさまざまな方法があります。以下のページを参照してください。アルバム選択後は、手順5へすすみます。

・すべてのアルバムを選択する　⇨55ページ
・範囲を指定してアルバムを選択する　⇨56ページ

5 ［決定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを右に動かして［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

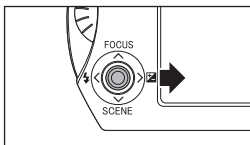
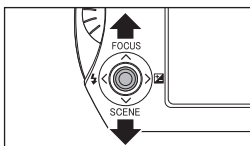
6 ［はい］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左に動かして［はい］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

すべてのアルバムを選択する

すべてのアルバムにチェックマーク☑を付けます。

準備

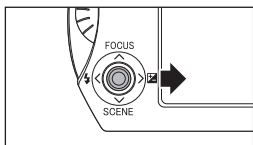
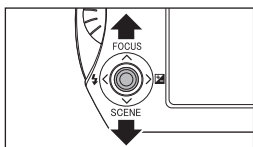
アルバムにひとつもチェックマーク☑が付いていない状態にする。

1 カーソルを機能選択エリアに移動する

▶（OK）ボタンを右に動かして、カーソルを機能選択エリアに移動します。

2 ［すべて選択］を選ぶ

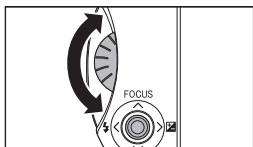
▶（OK）ボタンを上下に動かして［すべて選択］を選び、▶（OK）ボタンを押します。
すべてのアルバムにチェックマーク☑が付きます。
アルバムにひとつでもチェックマーク☑が付くと、［すべて選択］は［すべて解除］に変わります。
［すべて解除］を選ぶと、すべてのアルバムのチェックマーク☑が消えます。

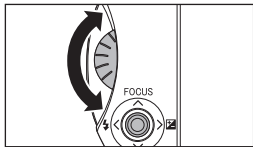
範囲を指定してアルバムを選択する

「ここからここまで」のアルバムにチェックマーク☑を付けます。

1 カーソルを機能選択エリアに移動する

▶（OK）ボタンを右に動かして、カーソルを機能選択エリアに移動します。

2 ［範囲指定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［範囲指定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 始点のアルバムを選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かして範囲指定の始点のアルバムを選び、▶（OK）ボタンを押します。始点のアルバムには黄色の枠が付きます。

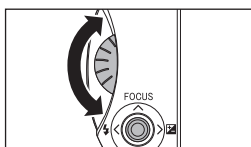
4 終点のアルバムを選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かして範囲指定の終点のアルバムを選び、▶（OK）ボタンを押します。
始点から終点までのアルバムにチェックマーク☑が付きます。

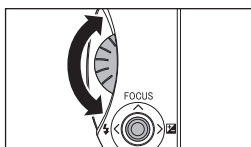
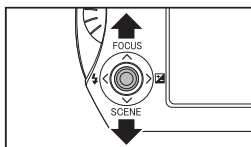
ドライブ内のすべての画像を消去する

ドライブ内のすべてのアルバムと画像を消去します。ただし、保護（プロテクト ➡ 103ページ）されている画像やロック状態（➡ 20ページ）になっているSDカード内の画像は消去できません。

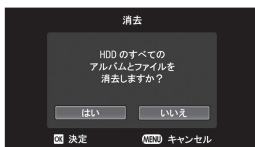
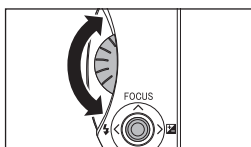
気をつけよう

- 一度消去した画像は元に戻せません。

1 撮影メニュー（➡ 42ページ）または再生メニュー（➡ 43ページ）から［消去］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［消去］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［全画像］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［全画像］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして消去したい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

4 ［はい］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［はい］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

撮影の応用

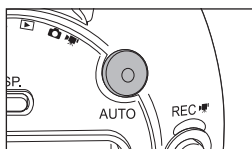
オートモードで撮影する
表示を切り換える
撮影シーンを設定する
フラッシュを設定する
マニュアルフォーカスを使う
明るさを調整（露出補正）する
逆光補正をする
補助光を使って撮影する
チャプターを作成する
動画撮影中に静止画を撮影する
コンバージョンレンズを使う
画像の保存先（アルバム）を選ぶ・作る
動画の画質を設定する
静止画サイズを設定する
セルフタイマーで撮影する
連続撮影する
自然な色合いで撮影する（ホワイトバランス）
x.v.Color
感度を上げる
手ぶれ補正を使って撮影する
風の音をカットする
マイク感度を変更する
デジタルズーム
測光方式を変更する
AF補助光を使う
オートガイドランプを消す
液晶の明るさを変更する

オートモードで撮影する

オートモードにすると、撮影に関する設定のほとんどをカメラが自動的に行います。有効なボタン類も少ないため、ミスをすることなく簡単に撮影することができます。

気をつけよう

- オートモードを解除してもオートモードにする前の設定には戻りません。

1 AUTOボタンを押す

オートモードアイコン

オートモードになっているときは、AUTOボタンとオートガイドランプ（⇨ 12, 13ページ）が青点灯します。

オートモードのときにAUTOボタンを押すと、オートモードが解除されます。

オートモードで有効なボタン類

POWERスイッチ、モードスイッチ、REC ボタン、REC ボタン、ズームレバー、MENUボタン（オートモード時はシンプルメニュー）、AUTOボタン

オートモードで使用可能な機能

動画撮影、静止画撮影、ズーム、消去、保存先、動画クオリティ、静止画サイズ、セルフタイマー、液晶の明るさ、セットアップメニューの各項目

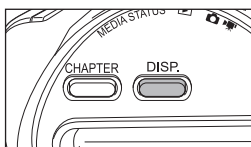
オートモードで制限される機能

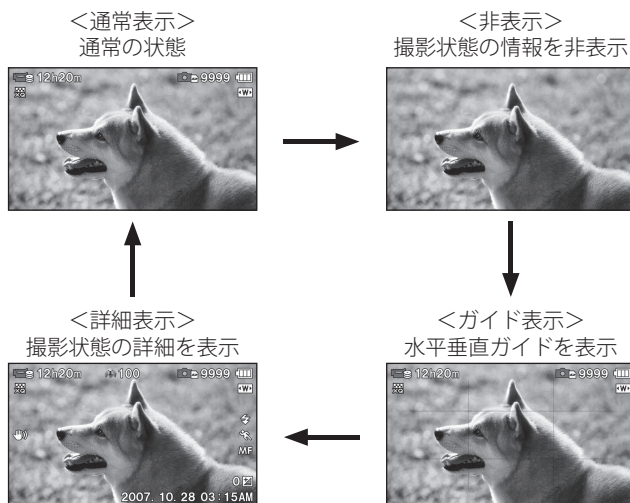
項目	設定	項目	設定
画面表示	通常表示	ホワイトバランス	オート
チャプター作成	動画撮影後5分割	x.v.Color	オフ
フォーカス	オートフォーカス	感度アップ	オフ
シーン	オート	手ぶれ補正	オン
フラッシュ	オート	風音低減	オン
明るさ調整	0	マイク感度	標準
逆光補正	オフ	デジタルズーム	20倍
補助光	オフ	測光方式	評価測光
連写	1ショット	AF補助光	オン

メモ

- 動画撮影中は、オートモードのオン／オフは切り換えられません。
- オートモードでは、動画撮影後、自動的にチャプターが4分割されます。

表示を切り換える

撮影モードの表示を切り換えることができます。

1 DISPボタンを押す

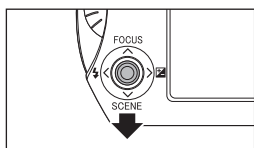
DISPボタンを押すごとに、表示が図のように切り換わります。

撮影の応用

撮影シーンを設定する

撮影場面や目的に合ったシャッター速度や絞りをカメラが自動で調整します。

気をつけよう

- シーンを設定すると、フラッシュ（64ページ）の設定が変更される場合があります。

1 シーンメニューを表示する

撮影モードで▶（OK）ボタンを下に動かします。

2 シーンを設定する

▶（OK）ボタンを左右に動かしてシーンを選び、▶（OK）ボタンを押します。

シーン設定項目について

シーン	撮影場面	設定できるフラッシュ
オート	特別な設定をしないとき	すべて（オート※）
人物	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせたいとき	赤目軽減※、発光禁止
風景	遠くの景色、風景など	発光禁止
スポーツ	スポーツなど、動きの早いものが被写体のとき	発光禁止
夜景	花火・夜景など、背景が暗いとき	強制発光※、発光禁止
スノー＆ビーチ	スキー場や海辺など、まぶしいとき	発光禁止※、強制発光
夕焼け	夕暮れ、夕焼けなど	発光禁止
ステージ	舞台など、一定の範囲を撮影したいとき	発光禁止

※ シーンを変更した場合の初期設定

- 動画撮影中は、シーン設定できません。
- 各シーンの説明は目安です。お好みに合わせて設定してください。
- シーンに［ステージ］を設定すると、ズームの広角端位置を指定して制限することができます（63ページ）。
- オートモードにすると、シーン設定はオートになります。

ズームの広角端を指定する

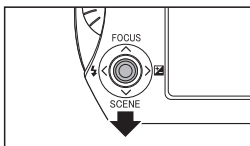
シーンに［ステージ］を設定すると、ズームの広角側いっぱいの位置を指定し、それ以上広角側へズームしないように制限することができます。
子供の学芸会など、客席から舞台を撮影するときに便利です。

望遠で人を撮影していて

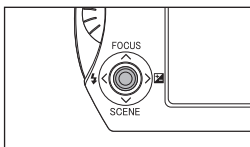
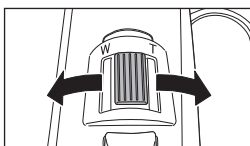
ズームを広角にしていくと

設定した位置で止まる

1 シーン設定で［ステージ］を選ぶ

2 ［新規作成］を選ぶ

▶（OK）ボタンを下に動かして［新規作成］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

［既存のデータを使用する］を選ぶと、登録済みのデータを読み込みます。

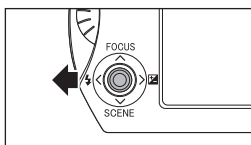
3 ズームの広角端を指定する

液晶モニターを見ながらズームレバーを動かして広角端の位置を決め、▶（OK）ボタンを押します。
指定した位置にロックマーク🔒が表示されます。

メモ
- 広角端を指定できるのは光学ズームの範囲内だけです。デジタルズーム域（➡ 86ページ）には指定できません。

撮影の応用

フラッシュを設定する

静止画を撮影するときのフラッシュを設定します。

1 フラッシュメニューを表示する

撮影モードで▶（OK）ボタンを左に動かします。

2 フラッシュを設定する

▶（OK）ボタンを左右へ動かしてフラッシュを選び、▶（OK）ボタンを押します。

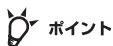
フラッシュ設定項目について

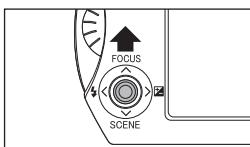
フラッシュ	フラッシュの状態と適した場面	設定できるシーン
オート	撮影状況に応じて自動的に発光。	オート
赤目軽減	撮影状況に応じて自動的に発光。フラッシュは2回発光し、2回目の発光時に撮影される。 赤目現象（159ページ）を軽減したい人物や動物を撮影するとき。被写体に視線を向けてもらったり、被写体に近づいたりすると、より効果的。	オート、人物
強制発光	必ず発光。 逆光、蛍光灯下など人工照明下での撮影。	オート、夜景、スノー＆ビーチ
発光禁止	発光しない。 室内照明を利用した撮影、舞台・スポーツ観戦などのフラッシュが届かない距離での撮影。	すべて

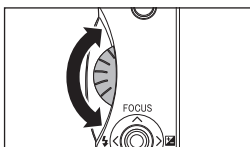
メモ

- 動画撮影中の静止画撮影は、フラッシュを使えません。
- ［連写］を設定すると、フラッシュは自動的に［発光禁止］になります。
- フラッシュが発光するときは、REC ボタンを半押しすると、画面のフラッシュアイコンが黄色で表示されます。
- フラッシュ撮影に適した被写体までの距離は、0.5m～2.5mです。
- オートモードにすると、フラッシュ設定はオートになります。
- コンバージョンレンズ（71ページ）をつけているときは、フラッシュの設定を［発光禁止］にしてください。

マニュアルフォーカスを使う

オートフォーカスでピントが合いづらいとき、手動でピントを合わせます。

- フォーカスを一定の場所に固定できるため、被写体が動いているときや暗い場所、逆光時など、ピントを合わせづらいときに便利です。
- 撮影距離が変わらない被写体を長時間撮影する場合（ステージ、子供の学芸会など）では、フォーカスロック機能として使用すると便利です。

1 ▶（OK）ボタンを上へ動かす

ジョグダイヤルマーク、ピントが合う距離※、マニュアルフォーカスアイコンが表示されます。
※ 距離表示は目安です。

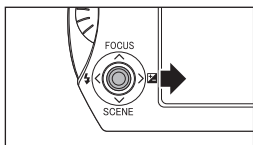
2 手動でピントを合わせる

液晶モニターを見ながら、ジョグダイヤルを回してピントを合わせます。

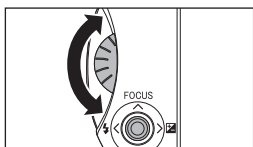
マニュアルフォーカスに設定されているときに▶（OK）ボタンを上に動かすと、オートフォーカスに切り換わります。

- 動画撮影中でも設定できます。
- ピントが合う距離がズームW側では0.1m、ズームT側では1.0mより短い場合は、距離表示は［🌷］になります。
- ピントが合う被写体の距離はズーム位置（➪ 37ページ）によって変わり、広角側が約1cm以上、望遠側が約1.0m以上です。
- コンバージョンレンズ（➪ 71ページ）を付けているときは、マニュアルフォーカスの距離表示が実際と異なる場合があります。
- オートモードにすると、フォーカス設定はオートフォーカスになります。

明るさを調整（露出補正）する

被写体と背景の明るさの差（コントラスト）が大きいときや、被写体が画面内で極端に小さいときに、適正な明るさ（露出 ⇨ 159ページ）が得られるように調整をします。明るさの値は-6から+6までの13段階で、1/3EV単位に設定できます。

1 ▶（OK）ボタンを右へ動かす

ジョグダイヤルマーク、明るさ設定値、明るさアイコンが表示されます。

2 明るさを設定する

ジョグダイヤルを回して明るさの値を設定し、▶（OK）ボタンを押します。

効果のある被写体

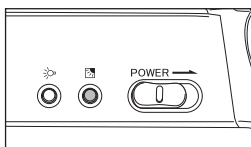
＋（プラス）補正
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の場合
- 逆光の場合
- スキー場などの明るい場面や反射が強い場合
- 画面内の大部分を空が占める場合

－（マイナス）補正
- スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の場合
- 常緑樹、または色の濃い葉など反射率が低い場合

- 動画撮影中でも、明るさ（露出）の調整ができます。
- オートモードにすると、明るさ設定は「0」になります。

逆光補正をする

光源に向かっての撮影など、レンズに多くの光がはいってしまう状況では被写体が暗くなることがあります。逆光補正とは被写体が明るく写るように調整するためのもので、明るさ調整（露出補正）の一種です。

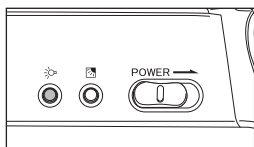
1 ボタンを押す

逆光補正がオンのときは、画面に逆光補正アイコンが表示されています。

逆光補正がオンのときに ボタンを押すと、逆光補正がオフになります。

メモ
- 動画撮影中でも設定できます。
- 明るさの調整が設定されている状態で ボタンを押すと、「明るさの調整」＋「逆光補正」の状態になります。
- オートモードにすると、逆光補正の設定はオフになります。

補助光を使って撮影する

暗い場所などで撮影するときに使うと、被写体を明るく映すことができます。

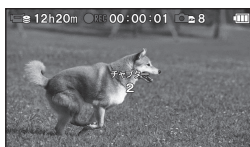
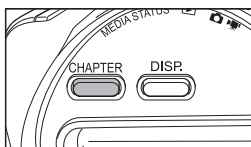
1 ボタンを押す

本体前面の補助光が点灯します。補助光がオンのときは、画面に補助光アイコンが表示されています。

補助光がオンのときに ボタンを押すと、補助光がオフになります。

メモ
- オートモードにすると、補助光は自動的にオフになります。

チャプターを作成する

動画の撮影中、任意の場所にチャプターを作成することができます。
チャプターとは、1つの動画をいくつかに区切った単位です。チャプターを作成すると、内容の確認や再生時の頭出しなどができます。

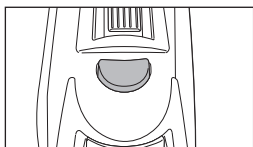
1 動画撮影中にCHAPTERボタンを押す

CHAPTERボタンを押した時点までの部分を1つのチャプターとして作成し、以降を次のチャプターとします。
動画1タイトルに、チャプターは20個まで作成できます。

- オートモードのときは、CHAPTERボタンは無効になり、動画撮影後、自動的に5つのチャプターに分割されます。

撮影の応用

動画撮影中に静止画を撮影する

動画の撮影中に静止画が撮影できます。

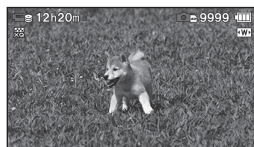
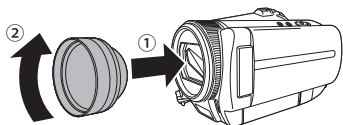
1 動画撮影中にREC 📷 ボタンを全押しする

静止画が撮影されます。
1回の動画撮影中に、静止画を8枚まで撮影できます。

- 動画撮影中のREC 📷 ボタン半押しは無効です。
- 動画撮影中の静止画撮影は、動画1タイトルにつき8枚までです。
- 動画撮影中の静止画撮影では［連写］、［セルフタイマー］は使えません。
- 動画撮影中の静止画撮影では、フラッシュは使えません。
- 動画撮影の残り時間が10 秒未満のとき、動画撮影中の静止画撮影ができません。

コンバージョンレンズを使う

コンバージョンレンズ（別売）は、レンズの前に取り付けて、より望遠、より広角で撮影したいときなど、撮影できる範囲を変化させたいときに使用します。

1 コンバージョンレンズを取り付ける

コンバージョンレンズを矢印の方向に回しながら取り付けます。

テレコンバージョン
レンズを付けると・・・

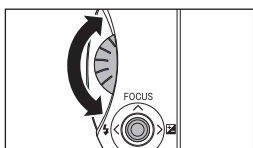
ワイドコンバージョン
レンズを付けると・・・

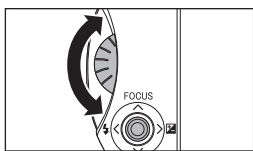
- 別売のコンバージョンレンズについては、ホームページをご覧ください。
  東芝gigashotホームページ　http://www.gigashot.net/
- レンズのフィルター径は43mmです。フィルター径が同じであれば、市販のコンバージョンレンズも使うことができます。
- コンバージョンレンズを付けているときは、次のようなことに気をつけてください。また、状況によってはコンバージョンレンズを取りはずしてください。
  - ・フラッシュ（64ページ）の光やAF補助光（88ページ）は、光がさえぎられてしまい、効果がありません。
  - ・リモコン（26ページ）が正しく動作しない場合があります。
  - ・［手ぶれ補正］（83ページ）は［オフ］にしてください。
  - ・オートフォーカスが利きにくくなったり、撮影範囲や（152ページ）マニュアルフォーカスの距離表示が異なる場合があります。
  - ・ズームの位置によっては、四隅が暗くなったり、コンバージョンレンズが写りこんだりする場合があります。

画像の保存先（アルバム）を選ぶ・作る

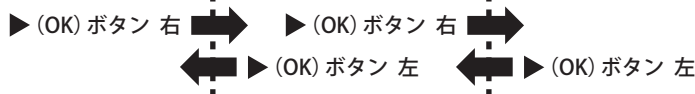
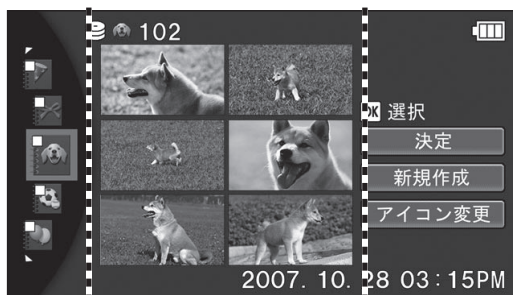
撮影シーンや撮影対象別など、目的に合わせて画像の保存・整理ができます。動画をHDD、静止画をSDカードのように、動画と静止画を分けて保存先することもできます。

動画の保存先を選ぶ

1 撮影メニュー（⇨ 42ページ）から［保存先］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［保存先］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［動画］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［動画］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 保存先のアルバムを選ぶ

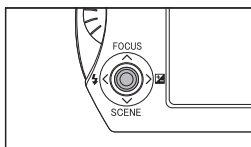
ジョグダイヤルを回して動画を保存するアルバムを選び、▶（OK）ボタンを押して☑を付けます。

4 ［決定］を選ぶ

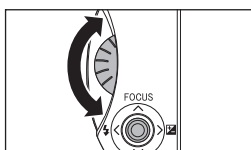
▶（OK）ボタンを右に動かして［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

保存先アルバム選択画面

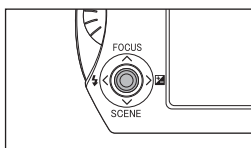
保存先のドライブを選ぶと表示される画面は、3つのエリアに分かれています。
▶（OK）ボタンを左右へ動かすと、隣のエリアへ移動することができます。
各エリア内では、ジョグダイヤル、または▶（OK）ボタンを上下に動かして選択します。

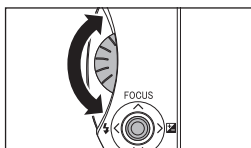
新しいアルバムに保存する

1 保存先アルバム選択画面で［新規作成］を選ぶ

▶（OK）ボタンでカーソルを移動させて［新規作成］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 アルバムの種類を選ぶ

ジョグダイヤルを回してアルバムの種類（➡ 23ページ）を選び、▶（OK）ボタンを押します。

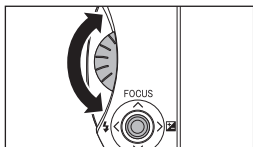
既存のアルバムの種類を変更して保存する

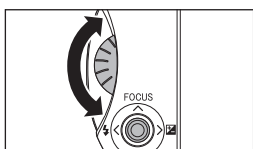
1 保存先アルバム選択画面で［アイコン変更］を選ぶ

▶（OK）ボタンでカーソルを移動させて［アイコン変更］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

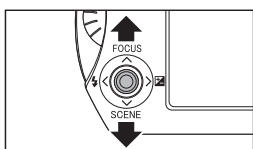
2 アルバムの種類を選ぶ

ジョグダイヤルを回してアルバムの種類（➡ 23ページ）を選び、▶（OK）ボタンを押します。

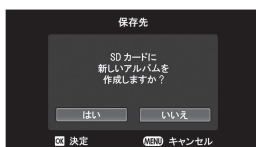
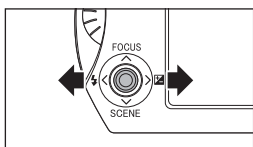
- 動画をSDカードに保存することはできません。

静止画の保存先を選ぶ

1 撮影メニュー（⇨42ページ）から［保存先］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［保存先］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

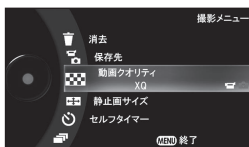
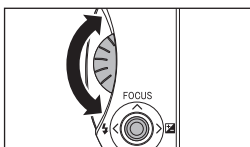
2 ［静止画］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［静止画］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

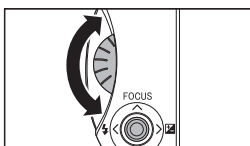
3 保存先のドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［HDD］または［SDカード］を選び、▶（OK）ボタンを押します。
［HDD］を選ぶと、静止画の保存先は動画と同じアルバムになります。

［SDカード］を選んだ場合は、以下の画面が表示されます。

▶（OK）ボタンを左右に動かして、アルバムを新しく作成する場合は［はい］、既存の最新アルバムに保存する場合は［いいえ］を選んで、▶（OK）ボタンを押します。

- SDカードに保存する場合は、常に最新アルバムに保存されます。
- SDカードには、アルバムの種類を設定できません。

動画の画質を設定する

1 撮影メニュー（☞42ページ）から［動画クオリティ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［動画クオリティ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 動画の画質を選ぶ

ジョグダイヤルを回して画質を選び、▶（OK）ボタンを押します。

XQ ：最高画質（1920×1080）
HQ ：高画質（1440×1080）
SP ：標準画質（1440×1080）

動画記録時間の目安

記録できる時間の目安は次のとおりです。
被写体によって、記録されるデータ量が異なるため、撮影可能時間の減り方が一定でない場合があります。

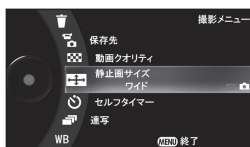
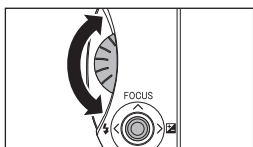
動画クオリティ	記録時間	
	100GB※	40GB※
XQ	約12時間00分	約4時間40分
HQ	約17時間40分	約7時間00分
SP	約23時間20分	約9時間20分

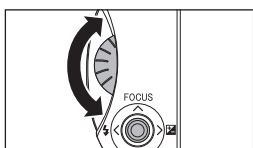
※ 1GBを10億バイトで計算した数値です。実際にフォーマットされた容量は、表記の数値より少なくなります。

- HDDの空き容量と画質によって、表示される撮影可能時間は変動します。
- オートモードにしても設定は引き継がれます。設定を変更することもできます。

撮影の応用

静止画サイズを設定する

1 撮影メニュー（42ページ）から［静止画サイズ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［静止画サイズ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 静止画のサイズを選ぶ

ジョグダイヤルを回してサイズを選び、▶（OK）ボタンを押します。

ワイド　：1920×1080ピクセル
ノーマル：1440×1080ピクセル

静止画撮影枚数の目安

記録できる目安は次のとおりです。
被写体によって、記録されるデータ量が異なるため、記録後の撮影可能枚数が増減する場合があります。

HDD		SDカード※2				
100GB※1	40GB※1	8GB	4GB	2GB	1GB	512MB
9,999枚	9,999枚	約7,600枚	約3,700枚	約1.920枚	約980枚	約490枚

※1 1GBを10億バイトで計算した数値です。実際にフォーマットされた容量は、表記の数値より少なくなります。
※2 SDカードはメモリ容量の一部を著作権保護機能などの管理領域として使用しているため、ご使用いただけるメモリ容量は表示容量より少なくなっています。

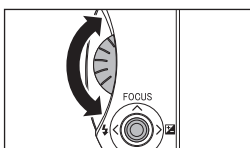
- ドライブの空き容量と画像サイズによって、表示される撮影可能枚数は変動します。
- オートモードにしても設定は引き継がれます。設定を変更することもできます。

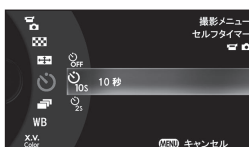
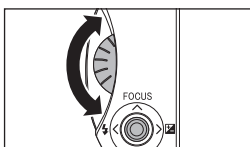
セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを使うと、設定時間（10秒または2秒）後に自動的に撮影されます。

ポイント

- セルフタイマーの設定［2秒］を使うと、静止画撮影の手ぶれ防止に効果的です。

1 撮影メニュー（⇨42ページ）から［セルフタイマー］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［セルフタイマー］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 セルフタイマーの設定時間を選ぶ

ジョグダイヤルを回して設定時間を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オフ ：セルフタイマーを使わない
10秒 ：REC 動画 ボタン、またはREC 静止画 ボタンを押してから約10秒後に撮影
2秒 ：REC 動画 ボタン、REC 静止画 ボタンを押してから約2秒後に撮影

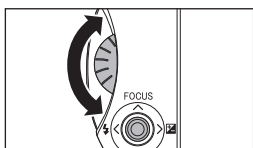
メモ

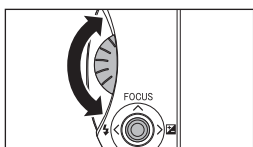
- セルフタイマー撮影時、REC 動画 ボタン、REC 静止画 ボタンを押すと、画面にカウントダウンが表示され、フロントランプが点滅し、設定時間（10秒または2秒）後に撮影されます。
- 連写（⇨ 78ページ）でもセルフタイマーが使えます。セルフタイマーを使ったときの連写撮影枚数は3枚です。
- カウントダウン表示中に▶(OK)ボタンを下へ動かすと、セルフタイマー撮影をキャンセルすることができます。
- オートモードにすると設定はオフになりますが、変更できます。

連続撮影する

ポイント

- 子供やペットなど、シャッターチャンスをとらえるのがむずかしい被写体の撮影に最適です。

1 撮影メニュー（➡42ページ）から［連写］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［連写］を選び、▶ (OK) ボタンを押します。

2 ［連写］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［連写］を選び、▶ (OK) ボタンを押します。

1ショット：1枚ずつ撮影する
連写　　　：連続撮影する

3 撮影モードにし、構図を決める

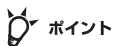
4 REC 📷 ボタン半押しでピントを合わせたら、全押ししたままにする

REC 📷 ボタンを離すまで連続撮影します。

- フラッシュ撮影はできません。
- 撮影間隔は、撮影状況によって変わります。
- セルフタイマー（➡77ページ）を使ったとき、連写の撮影枚数は3枚です。
- オートモードにすると、連写の設定は［1ショット］になります。

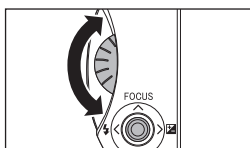
自然な色合いで撮影する（ホワイトバランス）

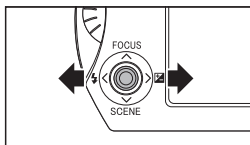
さまざまな光源の下で撮影するとき、自然な色合いになるようにホワイトバランス（159ページ）を設定します。

ポイント

- 登録されているホワイトバランスがうまく合わないときは、プリセットを使って手動で設定できます。

気をつけよう

- ［オート］以外に設定されているとき、光源と設定内容が違うと、色合いが不自然になります。

1 撮影メニュー（42ページ）から［ホワイトバランス］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［ホワイトバランス］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 使用するホワイトバランスを選ぶ

▶（OK）ボタンを左右に動かして使用するホワイトバランスを選び、▶（OK）ボタンを押します。
［プリセット］を選んだ場合は、「ホワイトバランスを手動で合わせる」に進みます。

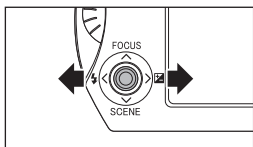
オート　　：自動調整
晴れ　　　：太陽光での撮影
曇　　　　：くもり空での撮影
蛍光灯H　：昼光色蛍光灯下での撮影（青みがかった蛍光灯）
蛍光灯L　：昼白色蛍光灯下での撮影（赤みがかった蛍光灯）
白熱灯　　：白熱灯下での撮影
プリセット：自分で登録したデータを使用する

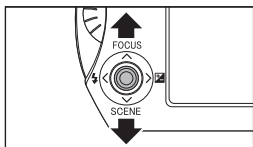
メモ

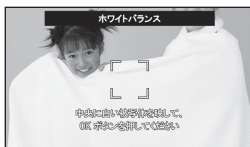
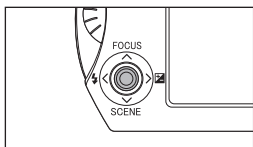
- オートモードにすると、ホワイトバランスの設定は［オート］になります。

ホワイトバランスを手動で合わせる

現在の光源に合わせて、プリセットデータを登録します。

1 ホワイトバランスの項目から［プリセット］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左右に動かして［プリセット］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

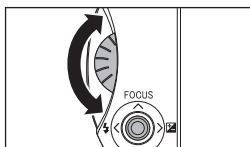
2 ［ホワイトバランスを合わせる］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［ホワイトバランスを合わせる］を選び、▶（OK）ボタンを押します。［既存のデータを使用する］を選ぶと、すでに登録されているプリセットデータを使用します。

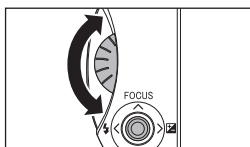
3 ホワイトバランスを合わせる

画面中央の枠内に、白い被写体（白い皿や紙など）を映して、▶（OK）ボタンを押します。

メモ
- ホワイトバランスを合わせるときは、できるだけ、中央に表示された枠いっぱいに白い被写体を映すようにしてください。

x.v.Color

このカメラで撮影した動画を「x.v.Color」規格（➪ 159ページ）に対応している映像機器で表示する場合に有効になる機能です。

1 撮影メニュー（➪ 42ページ）から［x.v.Color］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［x.v.Color］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オン：x.v.Colorを有効にする
オフ：x.v.Colorを無効にする

メモ
- オートモードにすると、x.v.Colorの設定は［オフ］になります。

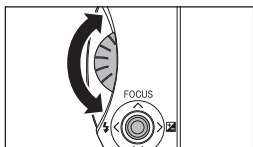
撮影の応用

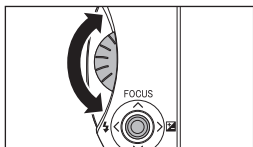
感度を上げる

撮影時の感度アップを有効にします。
フラッシュ撮影が禁止されている場所や暗い場所では、感度を上げることをおすすめします。

気をつけよう

- 感度を上げると撮影した画像にノイズがふえる場合があります。

1 撮影メニュー（42ページ）から［感度アップ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［感度アップ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

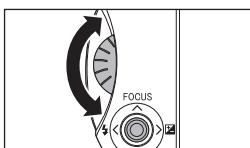
オン：感度を上げて撮影する
オフ：通常の感度で撮影する

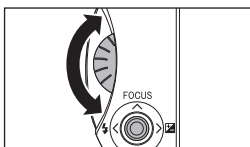
- オートモードにすると、感度アップの設定は［オフ］になります。

手ぶれ補正を使って撮影する

動画撮影時の手ぶれを低減します。

- ズーム撮影時に使うと便利です。

1 撮影メニュー（42ページ）から［手ぶれ補正］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［手ぶれ補正］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

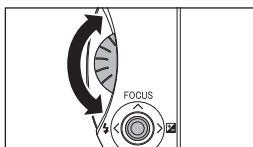
オン：手ぶれ補正機能を使う
オフ：手ぶれ補正機能を使わない

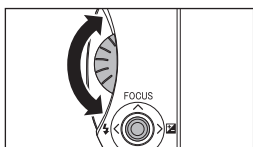
メモ

- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追って撮影したときなどは、補正できないことがあります。
- 手ぶれ補正は、シーン設定や周囲の明るさなどによって効果に違いがあります。暗い場所などでは性能を十分に発揮できません。
- 手ぶれ補正は動画撮影時の手ぶれを補正する機能です。静止画撮影時の手ぶれは補正されません。
- オートモードにすると、手ぶれ補正の設定は［オン］になります。

風の音をカットする

動画撮影時の音声録音で風の音を減らすことができます。

1 撮影メニュー（⇨42ページ）から［風音低減］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［風音低減］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

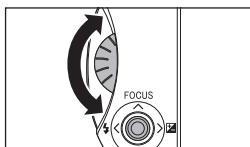
2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

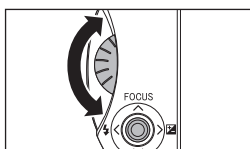
オン：風音低減機能を使う
オフ：風音低減機能を使わない

- マイクに直接風があたるような状況での撮影では効果がありません。
- オートモードにすると、風音低減の設定は［オン］になります。

マイク感度を変更する

動画撮影時のマイク感度を設定します。

1 撮影メニュー（ 42ページ）から［マイク感度］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［マイク感度］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 設定を選ぶ

ジョグダイヤルを回して設定を選び、▶（OK）ボタンを押します。

標準：通常のマイク感度
高　：マイク感度を高く設定する
　　　聞き取りにくい小さな音を録音したいときに選ぶ
低　：マイク感度を低く設定する
　　　周囲の雑音を低減したいときに選ぶ

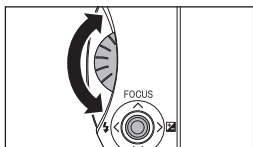
- オートモードにすると、マイク感度の設定は［標準］になります。

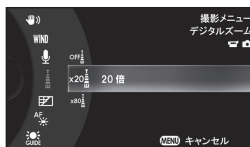
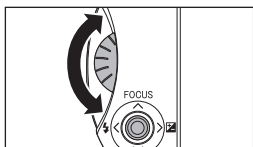
デジタルズーム

画面中央部をデジタル処理によって、さらに拡大できます。
画素補完技術によってデジタルズームのときも、設定した記録画素数で画像が記録されます。

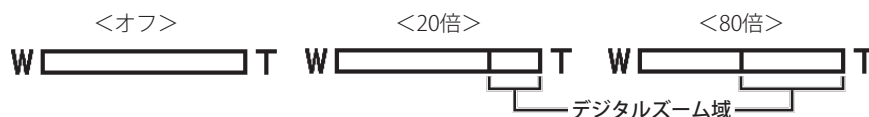
気をつけよう

- デジタルズームを使うと、画質が劣化します。

1 撮影メニュー（42ページ）から［デジタルズーム］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［デジタルズーム］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 デジタルズームの倍率を選ぶ

ジョグダイヤルを回して倍率を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オフ　：デジタルズームを使わない
20倍　：光学ズームと併せて、最大20倍までズームできる
80倍　：光学ズームと併せて、最大80倍までズームできる

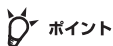
デジタルズームの設定により、ズームバーの表示は以下のように変わります。

撮影モードでズームするとき、光学ズーム域とデジタルズーム域でスライダーの色が変わります。

光学ズーム域　　：青
デジタルズーム域：赤

メモ

- オートモードにすると、デジタルズームの設定は［20倍］になります。

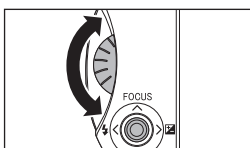
測光方式を変更する

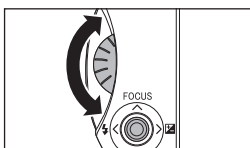
画像の明るさを計算するための測光方式を設定します。

ポイント

● 逆光のときなどに［スポット］を使用すると、特定の被写体に明るさを合わせることができます。

気をつけよう

● 測光ポイントが明るすぎると、撮影した画像が暗くなります。
● 測光ポイントが暗すぎると、撮影した画像が白っぽくなります。

1 撮影メニュー（⇨42ページ）から［測光方式］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［測光方式］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

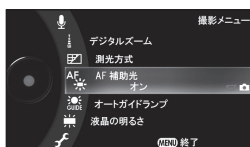
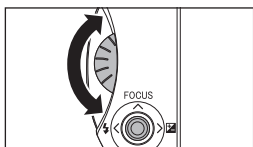
2 設定を選ぶ

ジョグダイヤルを回して設定を選び、▶（OK）ボタンを押します。

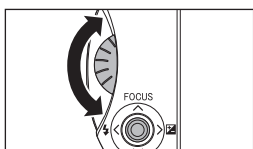
評価測光 ：分割したエリアごとに測光して、明るさを決める
スポット ：画面中央のエリアを測光して明るさを決める

メモ ● オートモードにすると、測光方式の設定は［評価測光］になります。

AF補助光を使う

静止画撮影で周囲が暗いときのピント合わせ用の補助光(点灯/非点灯)を設定します。

1 撮影メニュー（42ページ）から［AF補助光］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［AF補助光］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

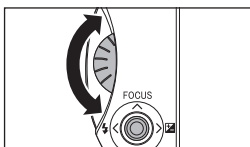
2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

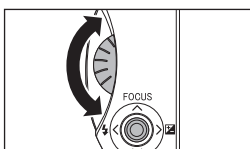
オン：周囲が暗いとき、REC ボタン半押しでAF補助光を点灯させる
オフ：AF補助光を点灯させない

メモ
- オートモードにすると、AF補助光の設定は［オン］になります。
- AF補助光が点灯しても、ピントが合わない場合があります。

オートガイドランプを消す

オートモードになっていることを知らせるランプの点灯／非点灯を設定します。

1 撮影メニュー（☞42ページ）から［オートガイドランプ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オートガイドランプ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［オフ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オフ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オン ：オートモード時にオートガイドランプを点灯する
オフ ：オートモード時でもオートガイドランプを点灯しない

メモ
- オートモードにしても、設定は引き継がれます。設定の変更もできます。

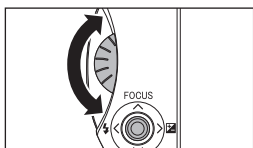
液晶の明るさを変更する

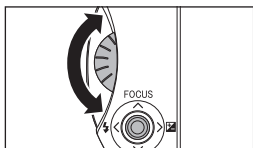
撮影場所の明るさに応じて、液晶の明るさを変えることができます。液晶を明るくすると、屋外などの明るい場所でも見やすくなります。

気をつけよう

- 液晶を暗くした状態で明るい場所に移動すると、液晶モニターが映っていないように見えます。

撮影（再生）メニューから液晶の明るさを変更する

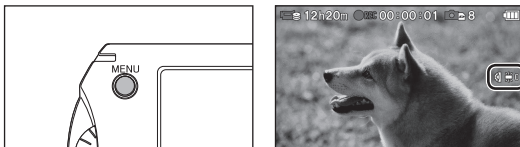
1 撮影（再生）メニュー（⇨42ページ）から［液晶の明るさ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［液晶の明るさ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 液晶の明るさを調整する

ジョグダイヤルを回して液晶の明るさを調整し、▶（OK）ボタンを押します。

メモ

- 液晶の明るさを変更しても、撮影画像の明るさは変化しません。

動画撮影中に液晶の明るさを変更する

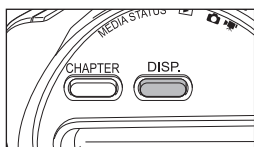
1 動画撮影中にMENUボタンを押す

2 液晶の明るさを変更する

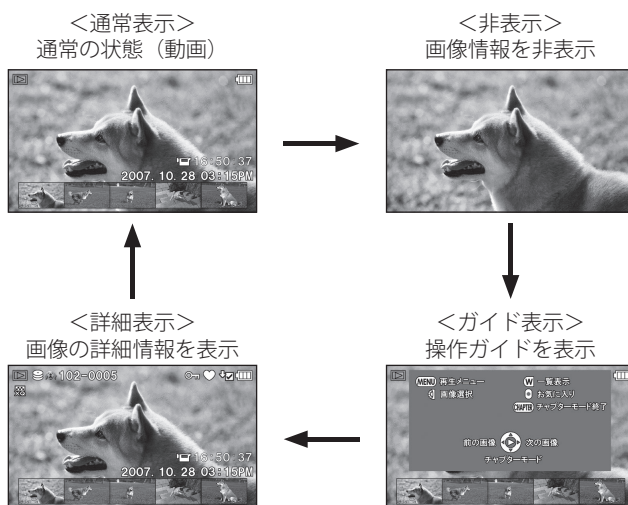
ジョグダイヤルを回して液晶の明るさを変更し、▶（OK）ボタンを押します。

● 液晶の明るさを変更しても、撮影画像の明るさは変化しません。

再生の応用

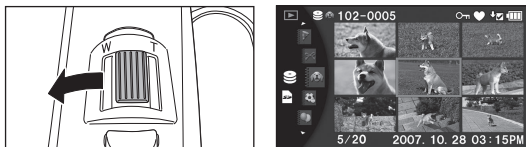
表示を切り換える

再生モードの表示を切り換えることができます。

1 DISPボタンを押す

DISPボタンを押すごとに、表示が図のように切り換わります。

メモ
- 動画再生中も表示を切り換えることができます。

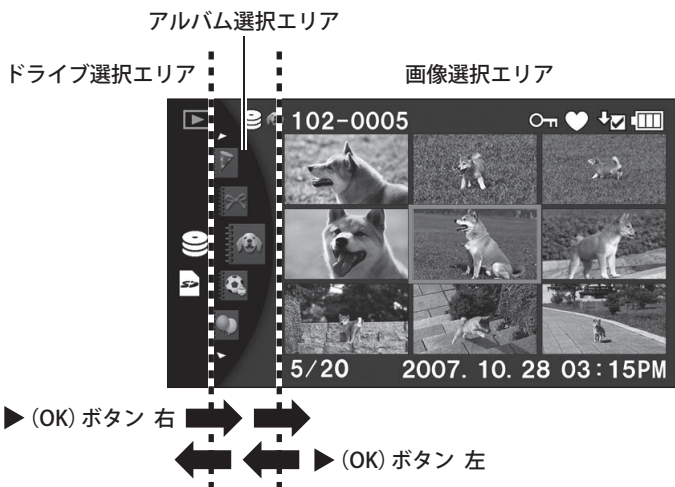
一覧表示する

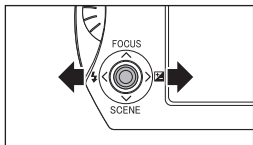
一覧表示にすると、ドライブ、アルバム、サムネイル（画像の縮小表示）を一画面に表示することができます。

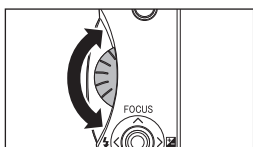
1 ズームレバーをW側にスライドする

一覧表示画面

一覧表示画面は、3つのエリアに分かれています。
▶（OK）ボタンを左右へ動かすと、隣のエリアへ移動することができます。
各エリア内では、ジョグダイヤル、または▶（OK）ボタンを上下に動かして選択します。

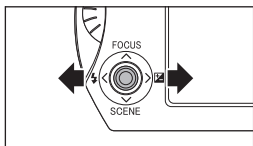
再生の応用

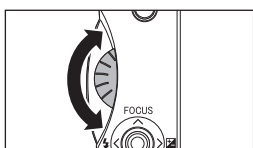
VENUS.indb　95　2007/10/26　17:01:07

アルバムを変更する

1 カーソルをアルバム選択エリアに移動する

▶（OK）ボタンを左右に動かして、カーソルをアルバム選択エリアに移動します。

2 アルバムを選ぶ

ジョグダイヤルを回してアルバムを選びます。

ドライブを変更する

1 カーソルをドライブ選択エリアに移動する

▶（OK）ボタンを左右に動かして、カーソルをドライブ選択エリアに移動します。

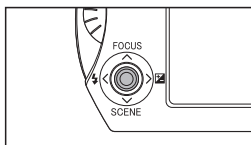
2 ドライブを選ぶ

ジョグダイヤルを回してドライブを選びます。

メモ

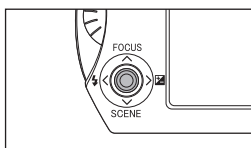
- 画像選択エリアにカーソルがある状態で、ジョグダイヤルを回して画面をスクロールしても、次（前）のアルバムへ移動することができます。
- ここで選んだドライブは再生するドライブです。撮影した画像を保存するドライブと違う方を選んでも、画像の保存先が切り換わることはありません。

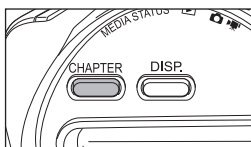
チャプターを分割する

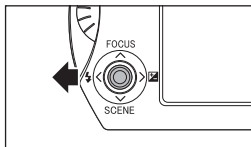
動画の再生中、または一時停止中に、任意の位置でチャプターを分割することができます。
重要なシーンの直前でチャプターを分割すると、再生するときにその場面を見つけやすくなります。

1 動画を再生する

再生モードで▶（OK）ボタンを押します。

再生メニュー「表示設定」の「動画再生ガイド」の設定が［オン］になっていると、動画再生ガイドが表示されます。［はい］、または［いいえ］を選んで動画再生を開始してください。

2 チャプターを分割したい場面で一時停止する

チャプターを分割したい場面で▶（OK）ボタンを押します。
ジョグダイヤルを回して、コマ送り／コマ戻しすると、最適な場面を探しやすくなります。

3 CHAPTERボタンを押す

CHAPTERボタンを押します。

4 ［はい］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左に動かして［はい］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

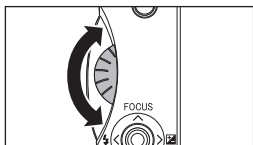
メモ
- チャプターは1タイトル中に20個まで作成できます。

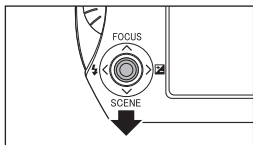
再生の応用

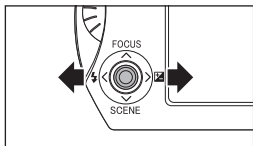
VENUS.indb 97 2007/10/26 17:01:09

チャプターを選んで再生する

指定したチャプター（159ページ）から動画再生を開始します。

1 動画を表示する

ジョグダイヤルを回して再生したい動画を表示します。

2 ▶（OK）ボタンを下へ動かす

チャプターにカーソルが移動します。

3 再生を開始するチャプターを選ぶ

▶（OK）ボタンを左右に動かして、再生を開始するチャプターを選びます（チャプターモード）。

4 再生する

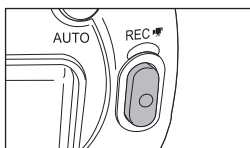
▶（OK）ボタンを押して、指定したチャプターから動画を再生します。

お気に入りを設定する

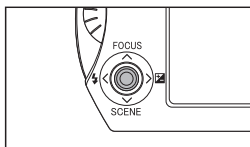
お気に入りに設定すると、オートプレイ（110ページ）でお気に入りの画像だけ再生することができます。

準備

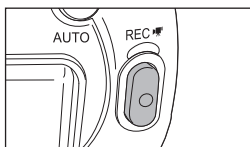
お気に入りに設定したい画像を表示しておきます。

1 REC ボタンを押す

お気に入りに設定されます。
DISPボタンを押して詳細表示（94ページ）にすると、お気に入りマークを確認できます。

動画を再生しながらお気に入りを設定する

1 動画を再生する

▶（OK）ボタンを押して動画を再生します。

再生メニュー「表示設定」の「動画再生ガイド」の設定が［オン］になっていると、動画再生ガイドが表示されます。［はい］、または［いいえ］を選んで動画再生を開始してください。

2 REC ボタンを押す

お気に入りに設定されます。
DISPボタンを押して詳細表示（94ページ）にすると、お気に入りマークを確認できます。

お気に入りを解除する

1 **お気に入りに設定されている画像を表示してREC 🎥 ボタンを押す**

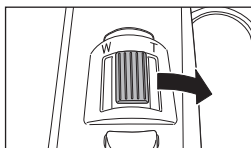
お気に入りが解除されます。
動画再生中や一時停止中も解除できます。

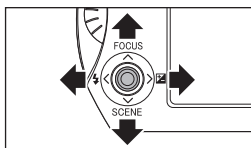
静止画を拡大表示する

静止画の細部を確認できます。

準備

拡大表示したい静止画を表示しておきます。

1 ズームレバーをT側にスライドする

ズームレバーをW側にスライドすると、元の表示倍率になるまで縮小表示されます。

2 表示位置を調整する

▶（OK）ボタンを上下左右へ動かして、表示する位置を移動します。

拡大表示中に▶（OK）ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

→T側にスライド→

←W側にスライド←

メモ

- 動画は拡大表示できません。

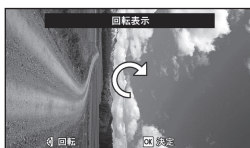
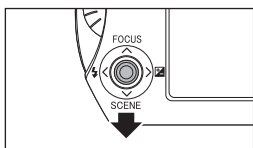
再生の応用

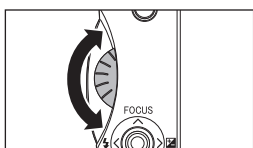
静止画を回転表示する

静止画を90°または180°回転して表示します。カメラを回転して撮影した静止画は、最初から回転した状態で再生されます。

準備

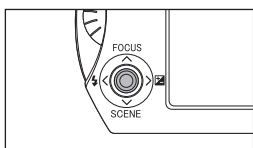
回転表示したい静止画を表示しておきます。

1 ▶（OK）ボタンを下へ動かす

回転表示モードになります。

2 静止画を回転する

ジョグダイヤルを回して静止画を回転します。

3 回転表示を決定する

▶（OK）ボタンを押します。

メモ

- 回転表示の情報は画像に記録されます。
- プロテクトされている静止画やロック状態のSDカード内にある静止画は、回転表示できません。
- 他の機器やパソコンで再生した場合、回転表示されない場合があります。
- 動画は回転表示できません。

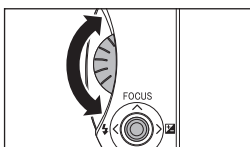
画像を保護する（プロテクト）

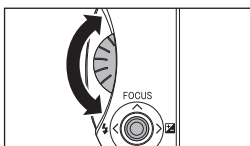
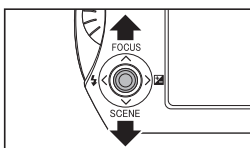
画像を誤って消去（45ページ）しないように、読み出し専用データにします。このことをプロテクトといいます。

気をつけよう

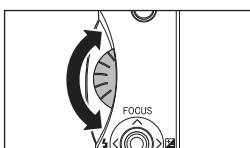
- プロテクトされている画像でも、フォーマット（132ページ）するとすべて消去されます。消去された画像は元には戻りません。

画像をひとつずつプロテクトする

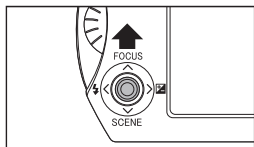
1 再生メニュー（43ページ）から［プロテクト］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［プロテクト］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［1画像］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［1画像］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かしてプロテクトしたい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

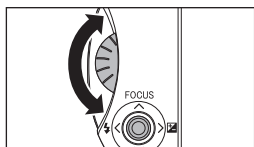
4 プロテクトしたい画像を表示する

ジョグダイヤルを回してプロテクトしたい画像を表示します。
すでにプロテクトされている画像には、プロテクトマーク が表示されます。

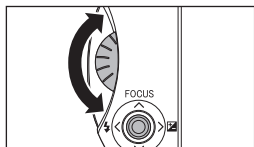
再生の応用

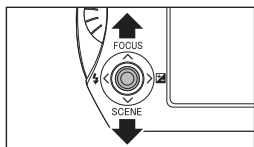
5 ［はい］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上に動かして［はい］を選び、▶（OK）ボタンを押します。
表示されている画像がプロテクトされ、前の画像が表示されます。
［いいえ］を選ぶと、表示されている画像のプロテクトを解除して前の画像を表示します。
［キャンセル］を選ぶと再生メニューに戻ります。

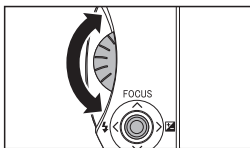
メモ
- プロテクトされている画像には、再生画面やプロテクト設定時に［ ］が表示されます。

画像をまとめてプロテクトする

1 再生メニュー（43ページ）［プロテクト］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［プロテクト］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［画像選択］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［画像選択］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

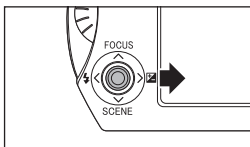
3 ドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かしてプロテクトしたい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

4 プロテクトしたい画像を選択する

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かしてプロテクトしたい画像にカーソルを移動し、▶（OK）ボタンを押します。
プロテクトしたい画像にチェックマーク☑が付きます。

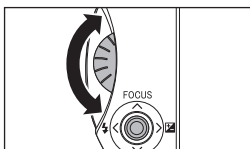
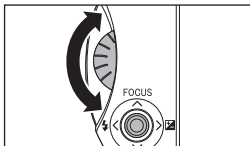
プロテクトマークが付いている画像にカーソルを移動し、▶（OK）ボタンを押すと、チェックマーク☑がはずれます。チェックマーク☑をはずした画像は､プロテクトが解除されます。
この操作を繰り返して、プロテクトしたいすべての画像にチェックマーク☑を付けます

画像を選択するには、このほかにもさまざまな方法があります。以下のページを参照してください。

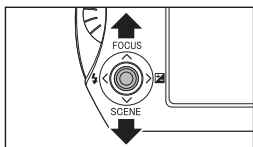
・アルバム内のすべての画像を選択する　⇨50ページ
・範囲を指定して画像を選択する　⇨51ページ
・複数のアルバムにまたがって画像を選択する　⇨52ページ

5 ［決定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを右へ動かして［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

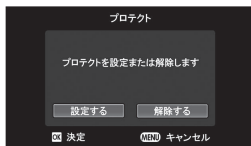
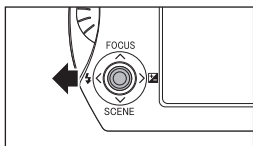
ドライブ内のすべての画像をプロテクトする

1 再生メニュー（⇨43ページ）から［プロテクト］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［プロテクト］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［全画像］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［全画像］を選び､▶（OK）ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かしてプロテクトしたい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

4 ［設定する］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左へ動かして［設定する］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

ドライブ内のすべての画像のプロテクトを解除する

1 再生メニュー（⇨43ページ）から［プロテクト］を選ぶ

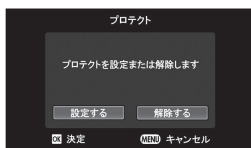
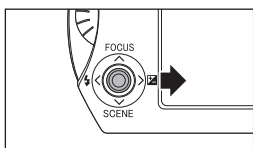
ジョグダイヤルを回して［プロテクト］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［全画像］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［全画像］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

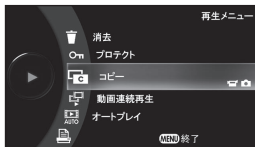
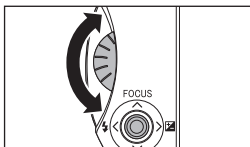
3 ドライブを選ぶ

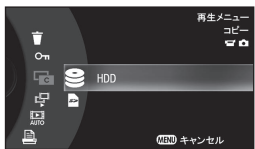
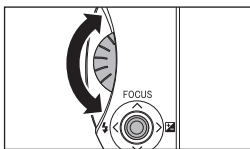
ジョグダイヤルを回してプロテクトを解除したい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

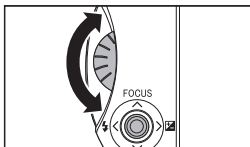
4 ［解除する］を選ぶ

▶（OK）ボタンを右へ動かして［解除する］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

画像をコピーする

HDDの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像をHDDへコピーします。動画をSDカードにコピーすることもできます。同じドライブには画像をコピーできません。

1 再生メニュー（43ページ）から［コピー］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［コピー］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

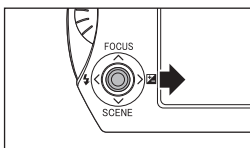
2 コピー元のドライブを選ぶ

ジョグダイヤルを回してコピーしたい画像のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 コピーしたい画像を選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かしてコピーしたい画像にカーソルを移動し、▶（OK）ボタンを押します。
コピーしたい画像にチェックマーク☑が付きます。

この操作を繰り返し、コピーしたいすべての画像にチェックマーク☑を付けます。

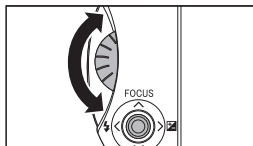
画像を選択するには、このほかにもさまざまな方法があります。以下のページを参照してください。

- アルバム内のすべての画像を選択する 50ページ
- 範囲を指定して画像を選択する 51ページ
- 複数のアルバムにまたがって画像を選択する 52ページ

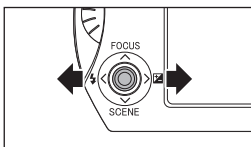
4 ［決定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを右に動かして［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

5 コピー先のドライブを選ぶ

再生の応用

コピー先のドライブがHDDの場合

ジョグダイヤルを回してコピーした画像を保存するアルバムにカーソルを移動し、▶ (OK) ボタンを押します。
指定したアルバムにチェックマーク☑が付きます。
▶ (OK) ボタンを右に動かして［決定］を選び、▶ (OK) ボタンを押します。

- コピー先のアルバムを新たに作成する場合
  ▶ (OK) ボタンを右に動かして機能選択エリアへカーソルを移動します。
  ▶ (OK) ボタンを下に動かして[新規作成]を選び、▶ (OK) ボタンを押します。
  アルバムの種類を決める画面でジョグダイヤルを回してアルバムの種類を選び、▶ (OK) ボタンを押します（⇨ 23ページ）。
- コピー先のアルバムの種類を変更したい場合
  ▶ (OK) ボタンを右に動かして機能選択エリアへカーソルを移動します。
  ▶ (OK) ボタンを下に動かして[アイコン変更]を選び、▶ (OK) ボタンを押します。
  アルバムの種類を決める画面でジョグダイヤルを回してアルバムの種類を選び、▶ (OK) ボタンを押します（⇨ 23ページ）。

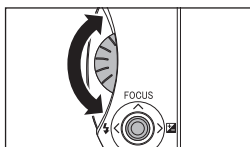
コピー先のドライブがSDカードの場合

▶(OK)ボタンを左右に動かして［最新アルバム］、または［新規作成］を選び、▶ (OK) ボタンを押します。

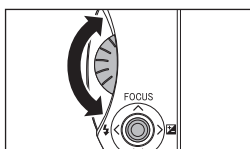
最新アルバム：既存の最大番号のアルバムにコピーする
新規作成　　：新たにアルバムを作成してコピーする

- SDカードにコピーした動画をカメラで再生すると、スムーズに再生されない場合があります。

動画を連続再生する

複数の動画を連続で再生できます。

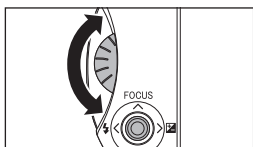
1 再生メニュー（43ページ）から［動画連続再生］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［動画連続再生］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

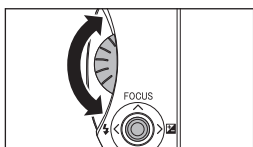
2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オン：再生を開始した動画より後ろにある同じアルバム内の動画を連続再生する
オフ：選択した動画だけを再生する

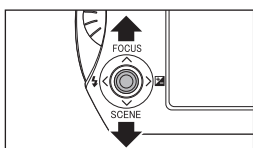
オートプレイ

ドライブ内の画像を順番に自動再生します。

1 再生メニュー（⇨43ページ）から［オートプレイ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オートプレイ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 対象画像を選ぶ

ジョグダイヤルを回してオートプレイの対象画像を選び、▶（OK）ボタンを押します。

すべて　　：選択するドライブ内の画像をすべて再生する
お気に入り：選択するドライブ内のお気に入りに設定された画像だけを再生する
設定を中止するときはMENU ボタンを押します。

3 ドライブを選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かしてオートプレイを実行するドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

オートプレイ実行中▶（OK）ボタンを押すと、オートプレイを一時停止することができます。

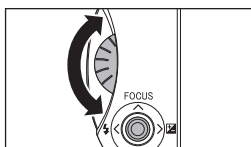
メモ
- オートプレイ実行中は、オートパワーオフ（⇨122ページ）は働きません。
- オートプレイ実行中は、動画のトリック再生（早送り／早戻し、コマ送り／コマ戻し、チャプタースキップ、ワンタッチスキップ）はできません。

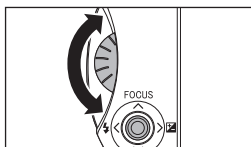
カメラから直接プリントする（PictBridge）

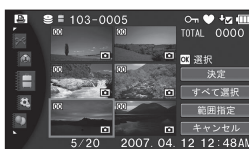
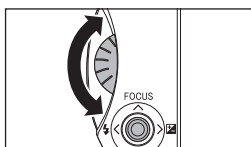
PictBridge（159ページ）に対応しているプリンターを使うと、パソコンを使わずにカメラから直接プリントできます。

気をつけよう

- ACアダプターを接続した状態で印刷を行ってください。
- PictBridgeに対応しているすべてのプリンターとの接続を保証するものではありません。
- プリンターとの接続中にUSBケーブルを抜くと、正常に動作しなくなる場合があります。

1 再生メニュー（43ページ）から［PictBridge］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［PictBridge］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

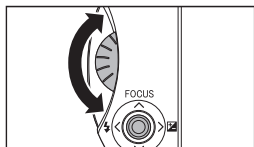
2 ドライブを選ぶ

ジョグダイヤルを回して印刷したい静止画のあるドライブを選び、▶（OK）ボタンを押します。

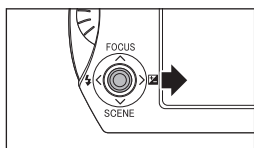
3 印刷したい静止画を選ぶ

ジョグダイヤルを回す、または▶（OK）ボタンを上下左右に動かして印刷したい画像にカーソルを移動し、▶（OK）ボタンを押します。

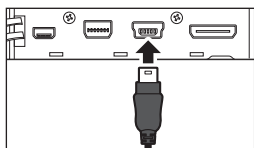
画像を選択するには、このほかにもさまざまな方法があります。以下のページを参照してください。

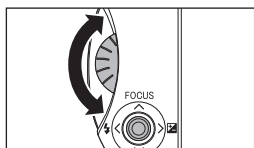
- アルバム内のすべての画像を選択する　50ページ
- 範囲を指定して画像を選択する　51ページ
- 複数のアルバムにまたがって画像を選択する　52ページ

再生の応用

4 枚数を設定する

ジョグダイヤルを回す、または▶(OK)ボタンを上下に動かして、選んだ画像の印刷枚数を設定します。
手順3、4を繰り返して印刷したい画像すべての印刷枚数を設定します。設定できる印刷枚数は、合計99枚までです。

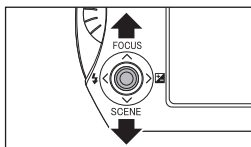
5 ［決定］を選ぶ

▶(OK)ボタンを右に動かして［決定］を選び、▶(OK)ボタンを押します。

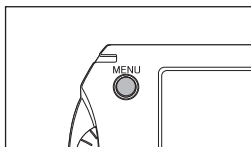
6 カメラとプリンターをUSBケーブルで接続する

「PictBrdge対応のプリンターを接続してください」というメッセージが表示されている状態で、カメラとプリンターをUSBケーブルで接続します。

7 印刷設定をする

ジョグダイヤルを回して設定する項目を選び、▶(OK)ボタンを押します。
ジョグダイヤルを回して設定を変更し、▶(OK)ボタンを押します。

印刷設定には以下の項目があります。

用紙サイズ ：印刷する用紙の大きさを設定します。
レイアウト ：1枚の用紙に印刷する静止画の枚数などを設定します。
用紙タイプ ：印刷する用紙の種類を設定します。
日付印刷 ：日付を画像に重ねて印刷するかしないかを設定します。

8 ［決定］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［決定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

9 印刷を終了する

印刷が終了したら、MENUボタンを押します。
「USBケーブルを抜いてください」というメッセージが表示されます。

10 USBケーブルをはずす

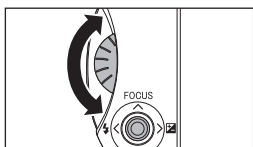
カメラとプリンターからUSBケーブルをはずしてPictBridgeを終了します。

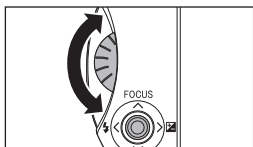
表示設定

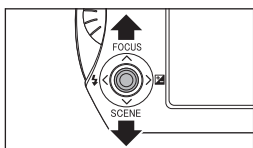
再生時に表示することができる「成長記録」、「動画再生ガイド」、「時間表示」の表示／非表示を設定します。

成長記録

誕生日設定（121ページ）されているとき、成長記録の表示／非表示を設定します。

1 再生メニュー（43ページ）から［表示設定］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［表示設定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［成長記録］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［成長記録］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ［オン］または［オフ］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［オン］、または［オフ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

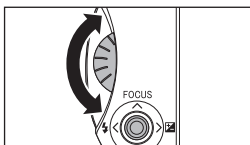
オン：再生時に成長記録を表示する
オフ：再生時に成長記録を表示しない

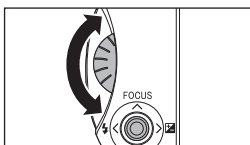
表示形式は次のようになります。

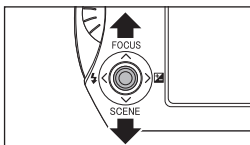
1歳以上：○○才○○ヶ月
1歳未満：○○ヶ月○○日

動画再生ガイド

動画再生を開始するときの操作ガイド表示をするかしないかを設定します。

1 再生メニュー（☞43ページ）から［表示設定］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［表示設定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

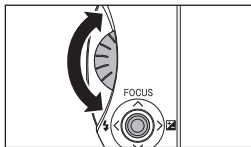
2 ［動画再生ガイド］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［動画再生ガイド］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

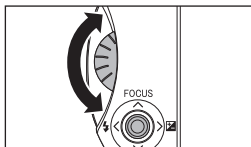
3 ［オン］または［オフ］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［オン］、または［オフ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

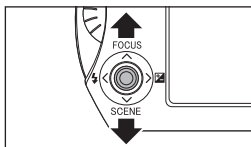
オン：動画再生開始時にガイドを表示する
オフ：ガイドは表示しない

時間表示

動画再生時の時間表示を設定します。

1 再生メニュー（⇨43ページ）から［表示設定］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［表示設定］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

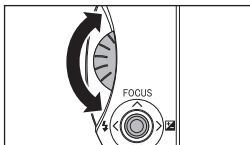
2 ［時間表示］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［時間表示］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

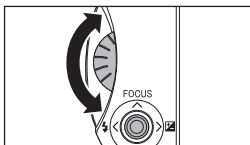
3 ［経過時間］または［タイムコード］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上下に動かして［経過時間］、または［タイムコード］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

経過時間　　：動画再生時に経過時間を表示する
タイムコード：動画再生時に撮影時の日時を表示する

HDMI連動

このカメラをテレビとHDMI接続したときに、テレビのリモコンでこのカメラの再生操作ができます。

1 再生メニュー（43ページ）から［HDMI連動］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［HDMI連動］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 HDMI連動対応の［オン］または［オフ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］または［オフ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

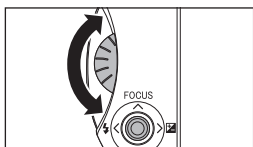
オン：HDMI接続時、テレビのリモコンでカメラの再生ができる
オフ：HDMI接続時、テレビのリモコンでカメラの再生をしない

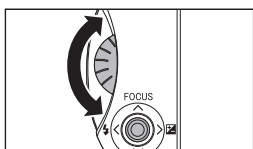
メモ
- HDMI連動に対応しているテレビについては、ホームページをご覧ください。
  東芝gigashotホームページ　http://www.gigashot.net/

カメラの基本設定

カメラの操作音を消す

静かな場所で使うときなど、カメラの起動・終了音、操作音を消すことができます。

1 セットアップメニュー（44ページ）から［サウンド］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［サウンド］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［オフ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オフ］を選び、▶（OK）ボタンを押すと選んだ設定がセットされ、セットアップメニューに戻ります。
設定を中止するときはMENUボタンを押します。

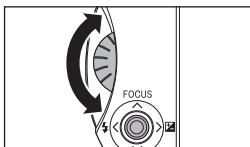
オン：カメラの起動・終了音、操作音を鳴らす
オフ：音を鳴らさない

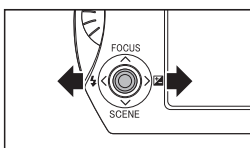
誕生日を設定する

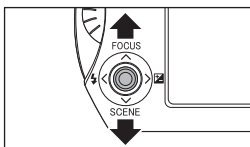
子供などの誕生日を3人まで設定できます。誕生日を設定すると、撮影日と誕生日から算出された日数を「成長記録」(☞114ページ)として再生画面に表示することができます。

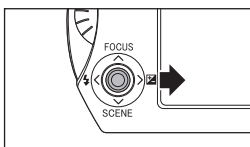
準備

日時を正しく設定してください(☞22ページ)。

1 セットアップメニュー(☞44ページ)から[誕生日設定]を選ぶ

ジョグダイヤルを回して[誕生日設定]を選び、▶(OK)ボタンを押します。

2 誕生日を入力する

▶(OK)ボタンを左右に動かして年/月/日を選び、ジョグダイヤルを回して数値を設定します。
数値の設定ができたら、▶(OK)ボタンを押します。
同様の操作で3人まで設定できます。

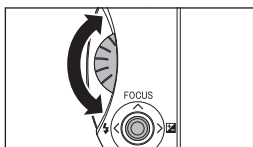
3 入力内容を決定する

▶(OK)ボタンを上下に動かして[決定]を選び、▶(OK)ボタンを押して入力内容を決定します。

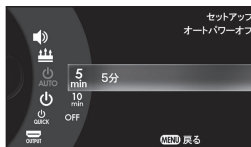
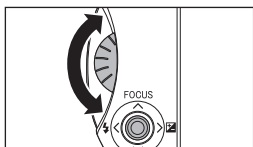
誕生日をクリアする

誕生日設定画面で、▶(OK)ボタンを右に動かして[クリア]を選び、▶(OK)ボタンを押して入力内容を決定します。

メモ
- 設定された人数分を「成長記録」として表示します。
- 年月日のひとつでも入力されていない場合は、誕生日設定がクリアされます。

自動的にカメラの電源を切る

カメラを一定の時間操作しなかったとき、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

1 セットアップメニュー（44ページ）から［オートパワーオフ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オートパワーオフ］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

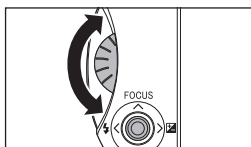
2 設定時間を選ぶ

ジョグダイヤルを回して設定時間を選び、▶（OK）ボタンを押します。

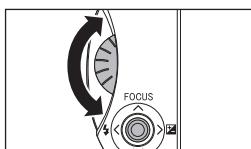
5分　：カメラを操作しない時間が5分を超えると電源が切れる
10分：カメラを操作しない時間が10分を超えると電源が切れる
オフ：自動的には電源を切らない

- スタンバイ状態、動画撮影中、動画再生中、消去実行中、プロテクト実行中、コピー実行中、オートプレイ実行中、パソコン・プリンターとの接続中は、この機能は働きません。
- ［クイック起動］（124ページ）が［オン］に設定されていても、オートパワーオフが働くとスタンバイではなく電源オフになります。

液晶モニターの開閉で電源を入れる・切る

液晶モニターの開／閉と電源の入／切を連動させることができます。

1 セットアップメニュー（➡ 44ページ）から［液晶連動POWER］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［液晶連動POWER］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オン：液晶モニターの開／閉で電源の入／切をする
オフ：液晶モニターの開／閉で電源の入／切をしない

メモ
- 液晶モニターをビューワーポジション（➡ 25ページ）にしても、電源は切れません。
- ［クイック起動］（➡ 124ページ）と組み合わせると、カメラの起動時間短縮がさらに便利に使えます。

すばやく起動する

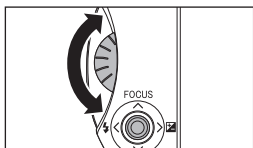
スタンバイ（⇨125ページ）の状態からすばやく起動することができます。

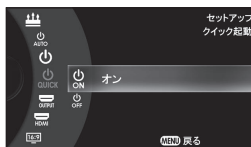
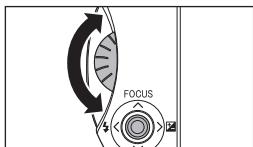
スタンバイの状態とは

電源オンと電源オフの中間の状態で、起動に必要なシステムをオンにし、その他のシステムをオフにしている状態です。
［クイック起動］を［オン］に設定すると、スタンバイ←→クイック起動の動作が可能になります。

気をつけよう

- スタンバイ状態では、電源オフ時よりも電池を消耗します。
- スタンバイですばやく起動するためにレンズバリアが開いています。レンズを触ったり、傷つけたりしないように注意してください。

1 セットアップメニュー（⇨44ページ）から［クイック起動］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［クイック起動］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

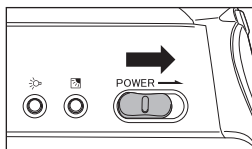
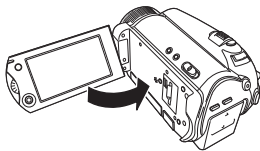
2 ［オン］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

オン：スタンバイを使ってすばやく起動する
オフ：スタンバイを使わない

スタンバイにする

準備

［クイック起動］を［オン］に設定します。

1 電源オフ動作をする

液晶モニターを閉じる、またはPOWERスイッチをスライドして、電源オフ動作をします（21ページ）。［クイック起動］が［オン］になっているので、電源オフにはならずに、スタンバイ状態になります。

- スタンバイの状態で約20分経過すると、自動的に電源オフになります。このときはクイック起動にはなりません。
- スタンバイにしないで電源を切りたい場合や、スタンバイから電源を切りたい場合は、POWERスイッチを約2秒間スライドさせてください。

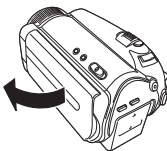
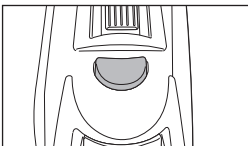
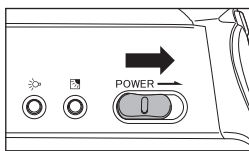
クイック起動する

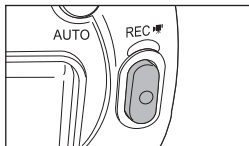
準備

スタンバイ状態。

1 カメラを起動する

カメラを起動するには、以下の方法があります。

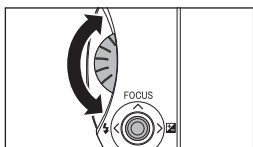
・液晶モニターを開く

・POWERスイッチをスライドする

・REC ボタンを押す

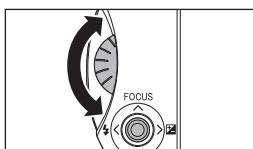
・REC ボタンを押す（起動後、動画撮影を開始）

- スタンバイからREC ボタンでクイック起動すると、起動後、自動的に動画撮影を開始します。

カメラの基本設定

映像を出力する端子を設定する

カメラから映像機器へ出力するときの端子を設定します。

1 セットアップメニュー（44ページ）から［映像出力端子］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［映像出力端子］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

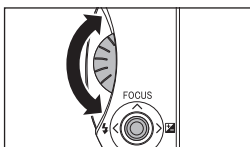
2 接続端子を設定する

ジョグダイヤルを回して接続端子を選び、▶（OK）ボタンを押します。

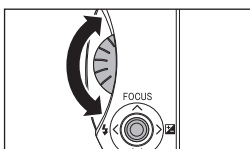
オート　　　　：接続された端子のうち、優先順位の高い端子に映像信号を出力する※
HDMI　　　　：HDMI出力端子に映像信号を出力する
COMPONENT：コンポネントビデオ端子に映像信号を出力する
AV/S　　　　：A/V OUT端子に映像信号を出力する

※優先順位　HDMI出力端子＞コンポネントビデオ端子＞A/V OUT端子

HDMI出力方式を変更する

カメラからHDMI出力端子に出力するときの方式を変更します。

1 セットアップメニュー（44ページ）から［HDMI出力］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［HDMI出力］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

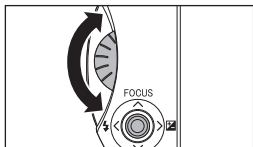
2 接続端子を設定する

ジョグダイヤルを回して出力方式を選び、▶（OK）ボタンを押します。通常は［オート］にしてください。テレビなどに正常に表示されない場合は、［1080i］または［480p］にしてください。

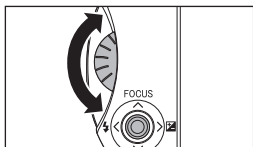
オート　：接続されたHDMIケーブルに対応する出力方式に自動で切り換える
1080i　：1080iで出力する
480p　：480pで出力する

- 映像出力端子の設定を［HDMI］にしているとき有効です。

接続するテレビ画面の縦横比を設定する

カメラとテレビをD端子コンポーネントケーブルまたはAVケーブルで接続するとき、テレビ画面の縦横比を設定します。

1 セットアップメニュー（⇨44ページ）から［出力テレビ］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［出力テレビ］を選び、▶（OK）ボタンを押します

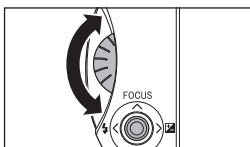
2 画面の縦横比を選ぶ

ジョグダイヤルを回して画面の縦横比を選び、▶（OK）ボタンを押します。

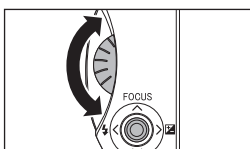
16:9 ：画面の縦横比が16:9のテレビに映像出力する
4:3 ：画面の縦横比が4:3のテレビに映像出力する

- HDMI出力には影響ありません。

言語を設定する

画面に表示される言語を設定します。

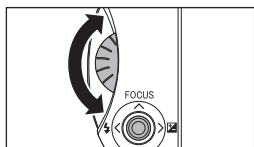
1 セットアップメニュー（44ページ）から［LANGUAGE］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［LANGUAGE］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

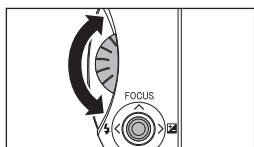
2 言語を選ぶ

ジョグダイヤルを回して言語を選び、▶（OK）ボタンを押します。

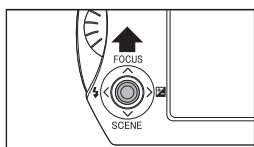
ENGLISH　　：画面に表示される言語を英語にする
日本語　　　：画面に表示される言語を日本語にする
FRANÇAIS　：画面に表示される言語をフランス語にする
DEUTSCH　 ：画面に表示される言語をドイツ語にする
ESPAÑOL　 ：画面に表示される言語をスペイン語にする
中国语简体字：画面に表示される言語を中国語簡体字にする
中國語繁體字：画面に表示される言語を中国語繁体字にする

HDD保護機能を使う

万一本体を落下させてしまった場合に、カメラの落下を検知してHDDへのアクセスを停止し、HDDを保護する機能です。

1 セットアップメニュー（44ページ）から［システム］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［システム］を選び、▶（OK）ボタンを押します

2 ［HDD保護］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［HDD保護］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ［オン］を選ぶ

▶（OK）ボタンを上に動かして［オン］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

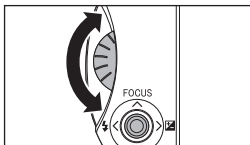
オン ：HDD保護機能を使う
オフ ：HDD保護機能は使わない

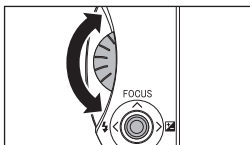
- HDD保護を設定していても、カメラの取扱いによっては、HDDが破損したり保存データが破壊されたりする場合があります。HDD保護は、HDDや保存データを保証するものではありません。
- 動画撮影中に落下を検知してHDDへのアクセスを停止すると、動画ファイルが正常に作成できないため、再生ができません。この動画は消去してください。
- HDD保護を[オフ]にすると、万一カメラを落としたとき、HDDが破損する可能性が高くなります。

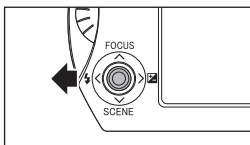
- 落下を検知してHDDへのアクセスを停止すると「HDDにアクセスできませんでした」と表示されますので、電源を入れ直してください。
- 撮影中にカメラを急に動かしたり、乗り物などに乗りながら撮影したりすると、センサーが作動して撮影が停止されることがあります。

システムをリセットする

カメラの設定内容を購入時の状態に戻します。ただし、保存先、言語、日時設定は購入時の状態には戻りません。

1 セットアップメニュー（⇨44ページ）から［システム］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［システム］を選び、▶（OK）ボタンを押します

2 ［リセット］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［リセット］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

3 ［OK］を選ぶ

▶（OK）ボタンを左に動かして［OK］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

HDDまたはSDカードをフォーマットする

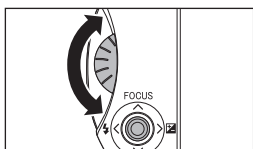
HDDやSDカードを初期化します。これをフォーマット（159ページ）と呼びます。フォーマットすると、HDD、またはSDカードに記録されている画像や作成したアルバムがすべて消去されます。

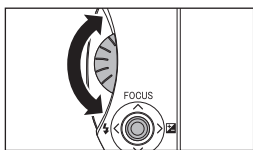
- フォーマットするときは、ACアダプターを接続した状態で行ってください。
- フォーマットすると､プロテクト（103ページ）されている画像も消去されます。また、画像以外のデータもすべて消去されます。フォーマットする前に、必ず確認してください。
- SDカードをフォーマットするときは、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

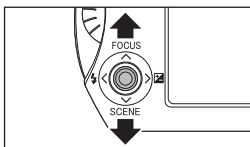
- SDカードやHDDに異常があるときは、正常にフォーマットできません。
- HDDやSDカードの動作環境を良好に保つために、定期的にフォーマットしてください（6ページ）。

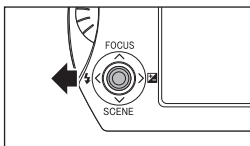
準備

必要なデータをバックアップする（148ページ）。

1 セットアップメニュー（44ページ）から［システム］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［システム］を選び、▶（OK）ボタンを押します

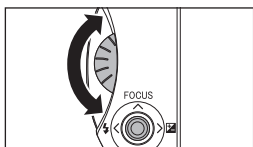
2 ［フォーマット］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［フォーマット］を選び、▶（OK）ボタンを押します。

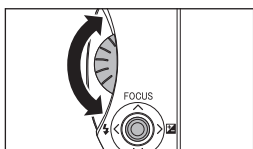
3 ドライブを選ぶ

▶ (OK) ボタンを上下に動かしてフォーマットしたいドライブを選び、▶ (OK) ボタンを押します。

4 ［はい］を選ぶ

▶ (OK) ボタンを左に動かして［OK］を選び、▶ (OK) ボタンを押します。

バージョン情報を表示する

カメラのファームウェア（カメラ本体の制御用プログラム）のバージョン情報を表示します。

1 セットアップメニュー（44ページ）からから［システム］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［システム］を選び、▶（OK）ボタンを押します

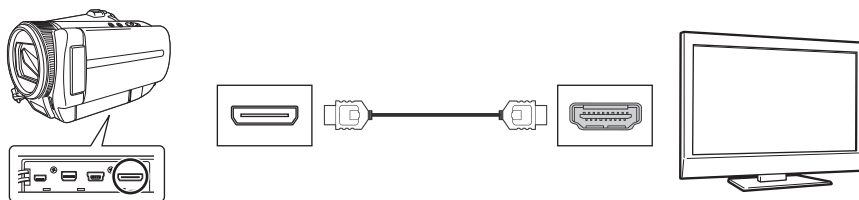
2 ［バージョン情報］を選ぶ

ジョグダイヤルを回して［バージョン情報］を選びます。

テレビと接続する

HDMIケーブルで接続する

HDMIケーブル（市販品）を使って、カメラとテレビを接続します。
デジタル信号でハイビジョン映像を楽しむことができます。

1 カメラとテレビをHDMIケーブルで接続する

カメラのHDMI出力端子とテレビのHDMI入力端子をHDMIケーブルで接続します。

- カメラのHDMI出力端子は、Mini HDMI端子（Type C）です。HDMIケーブルを購入するときは、片方がMini HDMI端子（Type C）のものをお求めください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴの表示があるものをお求めください。
- ［x.v.Color］（81ページ）を［オン］に設定して記録した動画は、x.v.Color対応の東芝液晶テレビREGZAでご視聴ください。

HDMI連動で接続する

「レグザリンク」機能に対応している東芝液晶テレビREGZAとHDMIケーブルで接続すると、REGZAのリモコンでカメラの画像を再生することができます。

準備

「HDMI連動」（117ページ）を［オン］にします。

1 再生モードにする（38ページ）

2 カメラと東芝液晶テレビREGZAをHDMIケーブルで接続する

カメラのHDMI出力端子と東芝液晶テレビREGZAのHDMI入力端子をHDMIケーブルで接続します。

3 東芝液晶テレビREGZAのリモコンで画像を再生する

リモコンでできるおもな操作は次のとおりです。

REGZAリモコンのボタン	カメラの動作			
	動画を表示	動画再生中	静止画を表示	一覧表示
電源	電源オフ			
再生 ▶	再生	ー	ー	動画：再生 静止画：静止画を表示
停止 ■	ー	動画を表示	ー	ー
一時停止 ❚❚	ー	一時停止	ー	ー
再生/一時停止 ▶/❚❚	再生	再生/一時停止	ー	動画：再生 静止画：静止画を表示
早送り ▶▶	ー	早送り	ー	ー
早戻し ◀◀	ー	早戻し	ー	ー
スキップ ▶▶❚	ー	次のチャプターの先頭へ	ー	ー
スキップ ❚◀◀	ー	現在のチャプターの先頭へ	ー	ー
ワンタッチスキップ	ー	ワンタッチスキップ	ー	ー
方向ボタン ▲	ー	ワンタッチスキップ	ー	カーソルを上へ移動
方向ボタン ▼	チャプターモード	動画を表示	回転表示モード	カーソルを下へ移動
方向ボタン ◀	前の画像を表示	現在のチャプターの先頭へ	前の画像を表示	カーソルを左へ移動
方向ボタン ▶	次の画像を表示	次のチャプターの先頭へ	次の画像を表示	カーソルを右へ移動
決定	再生	再生/一時停止	ー	動画：再生 静止画：静止画を表示
戻る	ー	動画を表示	ー	ー
終了	ー	動画を表示	ー	ー
番組選択（レグザリンクメニュー）	一覧表示	ー	一覧表示	動画/静止画を表示
画面表示（レグザリンクメニュー）	表示切換	表示切換	表示切換	ー

メモ

- テレビの機種によって、リモコンのボタンの種類は異なります。表のボタンがすべてあるわけではありません。
- HDMI連動機能は再生モード以外では使用できません。
- HDMI連動機能では再生メニューは表示できません。
- HDMI連動機能に関するテレビ側の設定については、テレビの取扱説明書をお読みください。

D端子コンポーネントケーブルで接続する

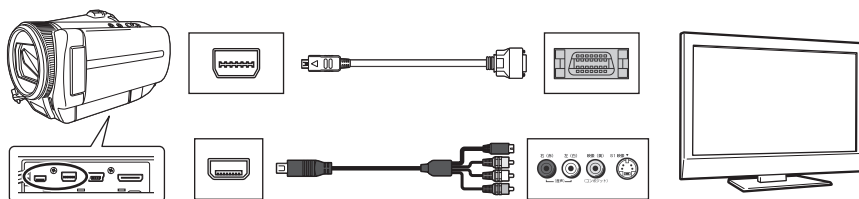
付属のD端子コンポーネントケーブルを使って、カメラとテレビを接続します。アナログ信号でハイビジョン映像を楽しむことができます。

1 カメラとテレビをD端子コンポーネントケーブルで接続する

カメラのコンポーネントビデオ端子とテレビのD入力端子をD端子コンポーネントケーブルで接続します。

2 カメラとテレビをAVケーブルで接続する

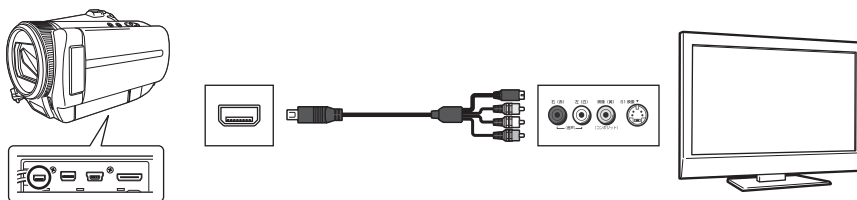
カメラのA/V OUT端子とテレビのビデオ入力端子（赤色と白色）をAVケーブルで接続します。

メモ

- D端子コンポーネントケーブルは映像のみの出力です。音声を出力するにはAVケーブルの音声端子（赤色と白色）を接続してください。

AVケーブルで接続する

付属のAVケーブルを使って、カメラとテレビを接続します。ハイビジョンに対応していないテレビにも表示することができます。

1 カメラとテレビをAVケーブルで接続する

カメラのA/V OUT端子とテレビのビデオ入力端子をAVケーブルで接続します。

パソコンと接続する

ソフトウェアについて

この取扱説明書は、お客様がお使いのパソコンの基本的な使用方法に関する知識をお持ちになっていることを前提として書いています。パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたはOS の取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属のCD-ROMには、次のソフトウェアが収録されています。

- **ImageMixer™ 3 for TOSHIBA**
  撮影した画像をパソコン上で見たり、パソコンに読み込んで、動画や静止画ファイルの管理が簡単にできます。
  ImageMixerと、このカメラ以外の機器との接続は保証しておりません。

- **Nero Vision 5 for TOSHIBA**
  gigashot付属のDVDオーサリングソフトNero Vision 5では、メニューやトランジション効果などのある（HD-DVD、）DVDのオーサリングはもちろん、最新のドルビーデジタル5.1ch オーサリングにも対応し、臨場感あふれるオーディオと、高画質のビデオを併せ持ったディスクを作成することができます。使いやすいウィザード形式のインターフェイスを採用しているので、ImageMixerとの連携で読み込んだビデオを簡単に（HD DVDビデオ、または）DVDビデオとして記録することができます。またH.264互換のNero Digital形式にエクスポートすることが出来ます。
  Nero製品のサポートはNeroのオンラインサポート http://support.nero.com までご連絡下さい。

- 「ImageMixer™ 3 for TOSHIBA」および「Nero Vision 5 for TOSHIBA」の使い方は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 連続記録 (➡ 33ページ) された動画タイトルを、付属のソフトウェア「ImageMixer™ 3 for TOSHIBA」で再生すると、ファイルとファイルの継ぎ目で映像が一瞬途切れることがあります。

接続するパソコンについて

パソコンとカメラを接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して、加工したり、インターネットを通じて家族や友人に送ったり、DVD に収録したりできます。

接続するパソコンの動作環境

カメラと接続するパソコンには、次のシステム環境が必要です。接続する前にお確かめください。

ソフトウェア動作環境

OS※1	Windows® XP Home Edition / Windows® XP Professional Windows® XP Media Center Edition / Windows Vista™ Home Basic Windows Vista™ Home Premium / Windows Vista™ Ultimate Windows Vista™ Business / Windows Vista™ Enterprise (64bitのOSに対応しておりません)
CPU※2	Pentium® 4 3.6GHz以上、Pentium® D3.2GHz以上、 Core™ Duo 2.0GHz以上、Core™ 2 Duo 1.66GHz以上
GPU	NVIDIA GeForce 7600GT以上、AMD（ATI）Radeon X1600以上を推奨
RAM	1GB以上
HDD	HD DVD作成時は30GB以上必要
ディスプレイ※2	1024 × 768以上
I/F	パソコンに標準搭載されたUSB1.1／USB2.0（USB2.0を推奨）
対応メディア	書き込みドライブに依存 DVD-Video　: DVD-R/-RW/-R DL, DVD+R/+RW/+R DL HD DVD-Video　: HD DVD-R
対応ドライブ	HD DVD-Rドライブ（HD DVDディスクにHD映像を記録する場合必要。） DVD-Rドライブ（DVDディスクに記録する場合必要。ただし、HD映像はSD映像に変換されて記録されます。）
その他	Microsoft® Internet Explorer® 5.5以上※3 Microsoft® DirectX® 9以上 インストール時は、管理者権限でログオン必須

※1　すべてプリインストールされたパソコンのみ対応とし、アップグレードされたパソコンでの動作保証はできません。Macintosh には対応していません。
また、すべてのパソコンとの動作を保証するものではありません。

※2　お使いのパソコンの環境によっては、動画再生にコマ落ちなどが発生する場合があります。その場合は、他のアプリケーションや、常駐型アプリケーションを終了させてください。

※3　Microsoft Internet Explorer 5.5以上がインストールされていない場合、付属のアプリケーションソフトウェアのインストールが完了しません。付属のアプリケーションソフトウェアウェアをインストールする前に、Microsoft Internet Explorer 5.5以上をインストールしてください。Microsoft Internet Explorerのインストールについては、Microsoftのホームページをご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

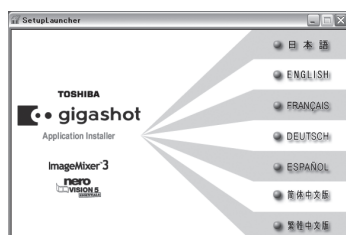
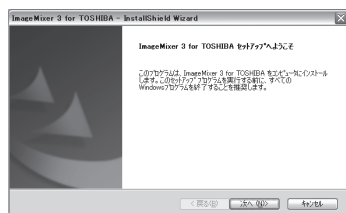
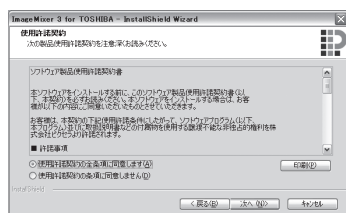
付属のCD-ROM からImageMixer 3 と、Nero Vision 5 をパソコンにインストールします。
対応OSは、Windows XP/Vistaです。

気をつけよう

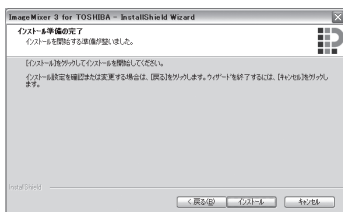
- 画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、AC アダプターの使用をおすすめします。
- ImageMixer 3 とNero Visiion 5 は、両方がインストールされている必要があります。一方をアンインストールすると、正常に動作しなくなる場合があります。

1 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブに挿入する

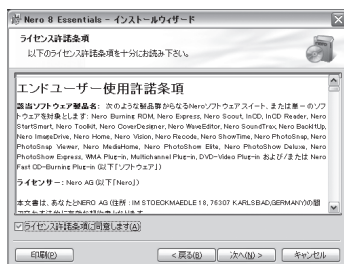
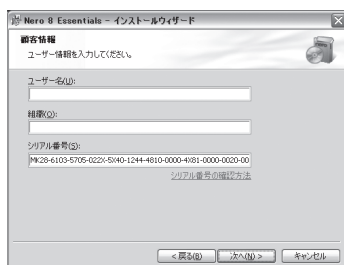
言語選択ウインドウが表示されない場合は、CD-ROMの中の「SetupLauncher.exe」をダブルクリックしてください。

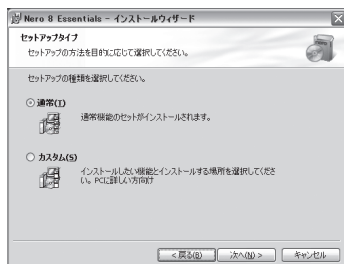
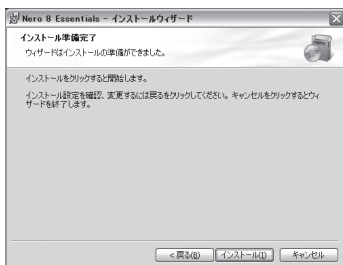
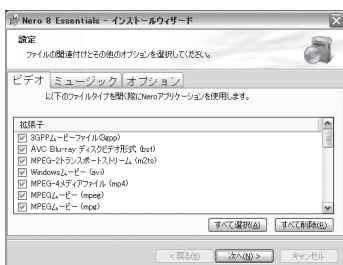
2 ［日本語］をクリックする

3 ［次へ］をクリックする

4 ［使用許諾契約の全条項に同意します］をチェックし、［次へ］をクリックする

5 ［次へ］をクリックする

6 ［NTSC 主に日本、アメリカなどの方式です］をチェックし、［次へ］をクリックする

7 ［インストール］をクリックする

ImageMixer 3 for TOSHIBAがインストールされると、Nero Vision 5 for TOSHIBAのインストールが始まります。

8 ［次へ］をクリックする

9 ［ライセンス許諾条項に同意します］をチェックし、［次へ］をクリックする

10 「ユーザー名」、「組織」を入力し、［次へ］をクリックする

シリアル番号は自動的に入力されますので、変更しないでください。

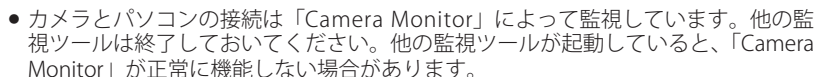
11 ［通常］をチェックし、［次へ］をクリックする

12 ［インストール］をクリックする

13 ［すべて選択］をクリックしてすべてをチェックし、［次へ］をクリックする

14 ［完了］をクリックする

Nero Vision 5 for TOSHIBAがインストールされました。

15 ［はい］をクリックする

パソコンを再起動して、インストールは終了です。

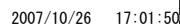
カメラの画像をパソコンにバックアップする

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、新しく追加で記録した画像だけを自動的にパソコンに転送します。
パソコンにバックアップした画像は、付属のソフトウェア「ImageMixer 3」と「Nero Vision 5」を利用して、HD DVDやDVDに収録することができます。

- カメラとパソコンの接続は「Camera Monitor」によって監視しています。他の監視ツールは終了しておいてください。他の監視ツールが起動していると、「Camera Monitor」が正常に機能しない場合があります。

準備

ImageMixer 3、Nero Vision 5、ShowTime 4をパソコンにインストールしておきます（144ページ）。
カメラとパソコンの電源を入れます。

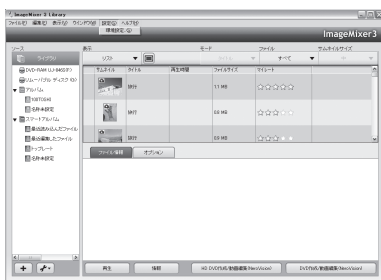
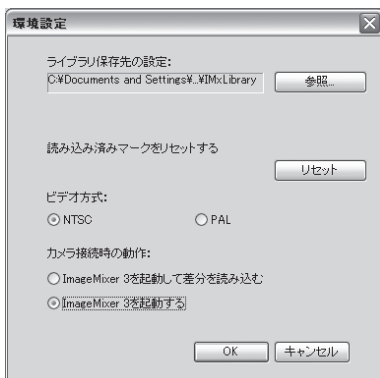
1 カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

新しく追加で記録した画像が自動的にパソコンに転送されます。転送済みの画像にはバックアップマーク（39ページ）が表示されます。
転送が終わると、ImageMixer 3が起動します。

USB接続時に画像の自動転送をしない

ImageMixer 3の設定を変更すると、USB接続時に自動的に画像を転送しないようにできます。

1 ImageMixer 3を起動する

デスクトップの「ImageMixer 3 for TOSHIBA」をクリックします。

2 メニューから［設定］－［環境設定］をクリックする

3 「カメラ接続時の動作」の［ImageMixer 3を起動する］をチェックする

4 ［OK］をクリックする

ファイルの構造について

カメラとパソコンを接続すると、カメラで撮影した画像は、次のように表示されます。

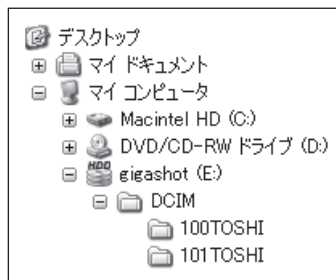
デスクトップ
マイ ドキュメント
マイ コンピュータ
Macintel HD (C:)
DVD/CD-RW ドライブ (D:)
gigashot (E:)
DCIM
100TOSHI
101TOSHI

［XXXTOSHI］
東芝のカメラで撮影した画像のフォルダを意味します。100～999のフォルダ番号が、状況に応じて割り当てられます。

静止画
ファイル名はGSC_XXXX.jpgです（XXXXは0001～9999の数字）。拡張子の「.jpg」はJPEG形式（159ページ）のファイルを意味します。
撮影した画像はExifフォーマット（159ページ）で保存されます。

動画（音声付き）
ファイル名はGSC_XXXX.mpgです（XXXXは0001～9999の数字）。
拡張子の「.mpg」はMPEG形式（159ページ）のファイルを意味します。

システムファイル
拡張子「.xml」「.IFX」は、カメラとパソコンの接続情報が含まれたファイルを意味します。

重要

- 「.xml」「.IFX」ファイルにはアルバムの情報が含まれています。
ファイルを消去すると、ソフトウェアの一部が正常に動作しなくなります。「.xml」「.IFX」ファイルは消去しないでください。
- 「.IFX」ファイルは1つの動画に対して1つずつ存在します。「.IFX」ファイルがないと、カメラで動画の再生ができません。

パソコンからカメラを取りはずす

1 パソコン画面右下の をクリックする

デスクトップ上で、右下にあるタスクトレイの をクリックします。
その後はメッセージに従って操作をしてください。

2 USBケーブルを取りはずす

付録

仕様

撮像素子	1/3型CMOSセンサー 有効画素数：約149万画素、総画素数：約236万画素
レンズ	光学10倍ズームレンズ　F1.8（Wide側）-F2.8（Tele側） 焦点距離：f=4.5-45mm（35mmカメラ換算：35.9-431mm） フィルター径：43mm
撮影範囲	Wide側：約0.01m〜∞、Tele側：約1.0m〜∞
液晶モニター＊1	3.0型TFTカラー液晶　画素数：23万画素（959×240）
フォーカス制御方式	TTLコントラスト検出AF
露出制御方式	プログラムAE
明るさ	-2EV〜+2EV（1/3EVステップ）
静止画撮影感度	ISO50〜400相当（自動設定）
シャッター速度	動画：1/8〜1/500秒 静止画：1/2〜1/500秒（電子シャッター、メカニカルシャッター併用）
手ぶれ補正	電子式
ホワイトバランス	オート／晴れ／曇／蛍光灯H／蛍光灯L／白熱灯／プリセット
デジタルズーム	20倍／80倍
入出力端子	DC IN 10V端子、USB端子、HDMI出力端子（Type C）、 コンポーネントビデオ端子、A/V OUT端子
電源	専用充電式リチウムイオンバッテリー（GSC-BT6）／ ACアダプター（SQPH20W10P-02）
記録媒体	HDD：100GB＊2（GSC-A100F）／40GB＊2（GSC-A40F） SDHCメモリカード／SDメモリカード：最大8GBまでサポート
動画	記録形式：MPEG4 AVC／H.264（60fps） 記録画素数：1920×1080 i ／1440×1080 i 音声：ドルビーデジタル、48kHz、16bit、ステレオ、384kbps
静止画	記録形式：JPEG（Exif 2.21、DCF 2.0 準拠） 記録画素数：207万画素（ワイド 1920×1080）／ 156万画素（ノーマル 1440×1080）
使用環境	温度：+5〜+40℃（動作時）／-20〜+60℃（保存時） 湿度：30〜80%RH（動作時、ただし結露しないこと）
外形寸法	78.1mm × 79.0mm × 135.4mm（幅×高さ×奥行き、突起部を含む）
質量	GSC-A100F：約495g（本体のみ）、約555g（バッテリー、SDカード含む） GSC-A40F：約485g（本体のみ）、約545g（バッテリー、SDカード含む）

＊1　液晶モニターは非常に高精度の技術で作られておりますが、微細な斑点が現れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

＊2　1GBを10億バイトで計算した数値です。実際にフォーマットされた容量は、表記の数値よりも少なくなります。

仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

画面に表示されるエラーメッセージ（158ページ）、本体ランプ（LED）（13ページ）などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法・補足	ページ
電源・準備			
充電できない	ACアダプターがつながっていない。	ACアダプターをつなげる。	14
	本体の電源がはいっている。	本体の電源を切る。	21
	カメラまたはバッテリーが高温になっている。	カメラまたはバッテリーを十分に冷ましてから充電する。	15
	カメラまたはバッテリーが低温になっている。	カメラまたはバッテリーを暖めてから充電する。	15
電源がはいらない	ACアダプターがつながっていない。	ACアダプターをつなげる。	14
	バッテリーが消耗している。	充電する。	14
	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	14
すぐに電源が切れる	バッテリーが消耗している。	充電する。	14
	温度が極端に低いところで使っている。	バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに入れる。	17
	端子が汚れている。	バッテリーおよび本体の端子を、乾いたきれいな布で拭く。	17
	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	14
電源が勝手に切れる	オートパワーオフが働いている。	電源を入れる。 オートパワーオフの設定を切り換える。	21 122
オートパワーオフが働かない	オートプレイを実行している。	オートプレイを停止する。	110
	パソコンと接続している。	パソコンとの接続を終了する。	122
	PictBridgeでプリンターと接続している	PictBridgeを終了する。	111
電源が切れない	クイック起動がオンになっている。	クイック起動を［オフ］にする。	124
クイック起動できない	スタンバイで20分以上経過した。	スタンバイで20分経過すると、電源オフになります。	125
日付・時刻が合っていない	バッテリーまたはACアダプターがない状態で長時間放置していた。	日付・時刻を再設定する。	22
	正常な起動・終了操作をしなかった。	日付・時刻を再設定する。	22
アルバムが作成できない	記録先のドライブに空き容量がない	別のSDカードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 画像をパソコンやDVDなどに移動する。	19 72 45 148
	記録先のドライブにアルバム番号「999」のアルバムが存在する。	別のSDカードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 「999」のアルバムを消去する。	19 72 53

状況	原因	対処方法・補足	ページ
SDカードが認識されない	SDカードの端子が汚れている。	SDカードの端子を乾いたきれいな布でふく。	—
	SDカードが壊れている。	別のSDカードに交換する。	19
液晶モニターが見づらい	液晶の明るさの設定が合っていない。	液晶モニターが見やすくなるように「液晶の明るさ」を設定する。	90
リセットしても戻らない設定がある	—	保存先、言語、日時設定は、リセットしても初期設定には戻りません。	131
すべてのボタン類が操作できない	システムに異常が発生した。	POWERスイッチを5秒以上スライドして、強制的に電源を切る。このとき、作成中のデータが消失したり、設定が初期設定に戻ることがあります。	21
動作が遅い	HDDに大量の画像がある。	画像を消去する。 画像をパソコンやDVDなどに移動する。	45 148
リモコンが効かない	リモコンの電池が正しい向きではいっていない。	電池を正しい向きで入れる。	26
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換する。	26
	使用できる範囲からはずれている。	距離：約4m以内、角度：上下左右約25度以内で使用する。	26
	リモコン受光部に強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光を当てない。	26
撮影			
選択できないフラッシュ設定がある	シーンが［オート］以外に設定されている。	［オート］以外のシーンでは、フラッシュが制限されます。	62
	連写が［連写］に設定されている。	連写を［1ショット］にする。	78
ピントが合わない	被写体までの距離とフォーカス設定が合っていない。	被写体との距離にあったフォーカス設定にする。	65
	近い被写体をズームで撮影している。	ズームを広角にする。	37
ズームが広角側に動かない	シーンモードが［ステージ］になっている。	シーンモードを［ステージ］以外にする。	63
撮影できない	記録先のドライブが［SD］になっているが、SDカードがはいっていない。	SDカードを入れる。 記録先のドライブをHDDに切り換える。	19 72
	記録先のドライブが［SD］になっているが、SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。 別のSDカードに交換する。 記録先のドライブをHDDに切り換える。	20 19 72
	記録先のドライブに空き容量がない。	別のSDカードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 画像をパソコンやDVDなどに移動する。	19 72 45 148
	画像が9,999に達した。	記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 画像をパソコンやDVDなどに移動する。	72 45 148
	記録先のドライブがフォーマットされていない。	記録先のドライブをフォーマットする。	132

状況	原因	対処方法・補足	ページ
撮影できない	記録先のドライブが壊れている。	別のSDカードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 HDDが壊れている場合は、モバイルAVサポートセンターにご相談ください。	19 72 —
	撮影準備中（起動中、記録中、フラッシュ充電中）に撮影しようとした。	撮影準備が完了してから撮影する。	—
フラッシュが発光しない	フラッシュが［発光禁止］に設定されている。	フラッシュを［発光禁止］以外に設定する。	64
	フラッシュが［オート］［赤目軽減］に設定されているが、周囲が明るいため発光しない。	フラッシュを［強制発光］に設定する。 ［オート］［赤目軽減］は、明るいところでは発光しません。	64
	シーンが［風景］［スポーツ］［夕焼け］に設定されている。	シーンを［風景］［スポーツ］［夕焼け］以外に設定する。	62
	動画撮影中に静止画を撮影した。	動画撮影中の静止画撮影はフラッシュが使えません。	70
	連写が［連写］に設定されている。	連写を［1ショット］に設定する。	78
動画撮影中に静止画撮影ができない	動画撮影の残り時間が10秒未満。	動画撮影可能時間が10秒未満になると、動画撮影中の静止画撮影ができません。	70
	ファイル番号が「9998」または「9999」の画像が存在する。	動画撮影を停止し、新しいアルバムを作成してから静止画を撮影する。	73
動画撮影が勝手に停止した	記録先のドライブに空き容量がない。	画像を消去する。 画像をパソコンやDVDなどに移動する。	45 148
	撮影中にカメラに振動を与えた。	カメラに振動を与えないようにする。	—
	HDD保護機能が働いた。	撮影中にカメラを急激に動かさない。 HDD保護を［オフ］にする。	130
撮影した画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃する。	8
	ピントが合っていない。	被写体との距離にあったフォーカス設定にする。	65
	撮影時に手ぶれした。（静止画）	カメラを正しく構える。 三脚を使って撮影する。 シーンを［スポーツ］に設定する。 セルフタイマーで撮影する。	30 — 62 77
	動きの速い被写体を撮影した。（静止画）	シーンを［スポーツ］に設定する。	62
撮影した画像が暗い	フラッシュ撮影のときに、フラッシュに指がかかっていた。（静止画）	カメラを正しく構える。	30
	フラッシュが届かない距離でフラッシュ撮影した。（静止画）	被写体に近づいて撮影する。フラッシュを［発光禁止］に設定する。	64
	被写体の周囲に明るい部分がある。	明るさを＋（プラス）側に設定する。 逆光補正を［オン］に設定する。 測光方式を［スポット］に設定する。	66 67 82
	光量が不足している。	シーンを［夜景］に設定する。	62
	明るさがー（マイナス）側に設定されている。	明るさを正しく設定する。	66

付録

状況	原因	対処方法・補足	ページ
撮影した画像が明るすぎる	近距離でフラッシュ撮影した。(静止画)	被写体から離れて撮影する。 フラッシュを［発光禁止］に設定する。	64
	被写体の周囲に暗い部分がある。	明るさを－（マイナス）側に設定する。 測光方式を［スポット］に設定する。	66 87
	光量が多すぎる。	シーンを［スノー＆ビーチ］に設定する。	62
	明るさが＋（プラス）側に設定されている。	明るさを正しく設定する。	66
	逆光補正が設定されている。	逆光補正を［オフ］に設定する。	67
撮影した画像の画質が悪い	高倍率のデジタルズームで撮影した。	デジタルズームを［オフ］に設定する。	86
撮影した画像の色が悪い	ホワイトバランスがずれている。	ホワイトバランスを正しく設定する。 ホワイトバランスの［プリセット］を使用する。	79
連写が途中で止まる	記録先のドライブに空き容量がない。	別のSDカードに交換する。 記録先のドライブを切り換える。 画像を消去する。 画像をパソコンやDVDなどに移動する。	19 72 45 148
	セルフタイマーが設定されている。	セルフタイマーが設定されているときの連写枚数は3枚です。	77
再生			
静止画が再生できない	パソコンなどでフォルダ名またはファイル名を変更した。	フォルダ名またはファイル名を元に戻す。	－
動画が再生できない	パソコンなどでフォルダ名またはファイル名を変更した。	フォルダ名またはファイル名を元に戻す。	－
	このカメラ以外のカメラで撮影した動画を再生しようとした。	このカメラで撮影した動画を再生する。	－
音声が聞こえない	音量が小さすぎる。	音量を上げる。	41
回転表示が保持されない	画像がプロテクトされている。	プロテクトを解除する。	106
	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
プロテクトが設定できない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
プロテクトが解除できない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
コピー先のドライブが選べない	コピーする画像の合計サイズがドライブの空き容量より大きい。	コピーする画像を選び直す。 コピー先のドライブを別のSDカードに交換する。 コピー先のドライブの画像を消去する。 コピー先のドライブの画像をパソコン、DVDなどに移動する。	107 19 45 148
コピー先のドライブが選べない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
PictBridgeでプリンターに接続できない	プリンターがPictBridgeに対応していない。	お使いのプリンターをご確認ください。	－
	USBケーブルを接続する手順が違う。	正しい手順で接続する。	111

状況	原因	対処方法・補足	ページ
PictBridgeの設定枚数が増やせない	合計枚数が99枚になっている。	指定できる最大プリント枚数は99枚までです。	112
消去・セットアップ			
画像を消去できない	画像がプロテクトされている。	プロテクトを解除する。	106
	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
アルバムを消去できない	アルバム内にプロテクトされた画像がある。	プロテクトを解除する。	106
	［1画像］または［画像選択］でアルバム内のすべての画像を消去した。	アルバム内のすべての画像を消去してもアルバムは消去されません。アルバムを消去するには、消去メニューの［アルバム選択］から、消去したいアルバムを選んでください。	53
選択消去でアルバム内を表示できない	アルバムに画像がない。	画像がないアルバムは、選択消去のときにアルバム内を表示できません。	48
画像を消去してもHDDの空き容量が増えない	HDDに連続した空き容量がない。	画像をパソコンなどに移動し、HDDをフォーマットする。	148 132
SDカードをフォーマットできない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
機器接続			
CD-ROMを入れても何も表示されない	ー	CD-ROMの中にある「SetupLauncher.exe」をダブルクリックする。	144
パソコンに接続できない	USBケーブルがつながっていない。	USBケーブルをつなげる。	148
	対応していないOSを使用している。	対応しているOSは、Windows XP/Vistaです。お使いのパソコンのOSを確認してください。	144
パソコンのファイルをカメラにコピーできない	SDカードがロック状態になっている。	SDカードのロック状態を解除する。	20
	コピーするファイルの合計サイズよりも空き容量が少ない。	コピー先のドライブを別のSDカードに交換する。 コピー先のドライブの画像を消去する。 コピー先のドライブの画像をパソコン、DVDなどに移動する。	19 45 148
テレビに接続しても画像が表示されない	映像ケーブルがつながっていない。	HDMIケーブル、D端子コンポーネントケーブル、AVケーブルのどれかをつなげる。	136 138 139
	［映像出力端子］の設定が正しくない。	［映像出力端子］を正しく設定する。	126

エラーメッセージ

画面には、次のようなエラーや状態を表すメッセージが表示されることがあります。

表示	意味
画像がありません	指定したドライブまたはアルバムに画像がない。
静止画がありません	PictBridgeで指定したドライブに静止画がない。
空き容量が足りません	指定したドライブに空き容量がない。
カードがありません	SDカードがはいっていない。
このカードは使えません	壊れているカード、または非対応のカードを使用した。
カードがフォーマットされていません	SDカードがフォーマットされていない。
カードがロックされています	ロックされたSDカードに書き込もうとした。
プロテクトされています	プロテクトされている画像を消去しようとした。または、プロテクトされている動画のチャプター分割をしようとした。
消去できないファイルがありました	アルバム消去、または全画像消去したとき、対象となるアルバム、またはドライブにプロテクトされた画像が含まれていた。
画像が選択されていません	消去、プロテクト、コピー、印刷、ディスクリスト作成などの動作決定時に、対象となる画像が選択されていない。
アルバムが選択されていません	消去、プロテクト、保存先などの動作決定時に、対象となるアルバムが選択されていない。
オートモードでは操作できません	オートモードでは操作できないボタンを押した。
ファイル番号が一杯です	コピー先のアルバムに番号1000の画像がある。
アルバム番号が一杯です	ドライブ内に作成できる最大アルバム数の999に達した。
チャプター数が一杯です	チャプター分割で作成したチャプター数が最大の20に達した。
これ以上撮影できません	ドライブ内に保存できる最大画像数の9999に達した。
このアルバムにはこれ以上撮影できません	アルバム内の画像数が1000に達した。
これ以上設定できません	PictBridge、またはディスク作成リストで指定した画像数が100に達した。
ディスクの容量を超えました	ディスク作成リストで選択した画像が、収録するディスクの容量を超えた。
チャプター分割できません	チャプター分割で既存のチャプターとの間隔が狭い。
チャプター結合できません	チャプター数がひとつ、最初のチャプターを選択、または最後のチャプターを選択している状態でチャプター結合しようとした。
動画が壊れています	選択した動画が壊れています。
処理が中断されました	消去、プロテクト、コピー、PictBridge印刷の途中で処理が中断された。
お気に入りが設定されていません	お気に入りが設定されていない状態で、オートプレイのお気に入りを選択した。
PictBridge対応の機器ではありません	PictBridgeに対応していないプリンターに接続した。
プリンターエラー	PictBridge接続中のプリンターにエラーが発生した。
インクがありません	プリンターにインクがない。
紙がありません	プリンターに用紙がない。
ペーパーエラー	印刷時に紙に関するエラーが発生した。
異常が発生しました USBケーブルを抜いてください	USBでの通信中にエラーが発生した。

用語

● **Exif（Exchangeable Image File Format ）**
JEITA（ 電子情報技術産業協会）に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマット。TIFF やJPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができる。

● **JPEG**
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式。圧縮率を選べるが、圧縮率が高いと画質は劣化する。パソコン用のペイントソフトやインターネット上で広く使われている。

● **MPEG**
デジタルの映像・音楽を効率的に転送するための動画圧縮ファイル形式。

● **MPEG4 AVC/H.264**
ITU（国際電気通信連合）とISO（国際標準化機構）が策定した動画の符号化方式のひとつ。

● **PictBridge（ピクトブリッジ）**
デジタルカメラを直接プリンターに接続して画像を印刷するための通信規格。
PictBridge 対応のプリンターにUSB ケーブルを接続して直接印刷を行なうことができる。
デジタルカメラで出力枚数などを指定できるほか、様々な機能が利用できる。

● **x.v.Color**
動画用広色域色空間の国際標準規格「xvYCC」に準拠。従来よりも広い色空間を持つ。

● **赤目現象**
人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがある現象。これは、フラッシュの光が目の中で反射することによって起こる。

● **逆光補正**
レンズに大量の光がはいることで、被写体が暗くなってしまうことを逆光と言い、この現象を防ぐために行う露出補正のこと。

● **ドルビーデジタル（Dolby Digital）**
米国のドルビーラボラトリーズが開発したマルチチャンネルサラウンド対応の音声圧縮形式。音声品質の劣化を抑えながら音声データを圧縮できるので、高品質の音声と動画を持つDVDビデオが作成できる。通称「ドルビーデジタル5.1」または「5.1 サラウンド」と呼ばれる。

● **フォーマット**
HDDおよびSD カードの内部を、データを記録するための形にすること（初期化ともいう）。

● **ホワイトバランス（白バランス）**
被写体周辺の照明の色に合わせて、白い被写体が白く見えるように調整する機能をホワイトバランスという。

● **露出補正**
カメラが自動的に決めた露出よりも、意図的に明るくしたり暗くしたり調節・修正することをいう。

● **チャプター**
動画の区切りの単位。場面ごとにチャプターを作成することで、再生時に頭出しなどができるようになる。

アフターサービスについて

保証書

保証書はお買い上げいただいたお店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げの日より1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。
「故障かな？と思ったら」⇨153ページ
それでも調子が悪いときは、裏表紙の「モバイルAV サポートセンター」にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品について

- 当社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは次のことをお知らせください

- 形名　GSC-A100F ／ GSC-A40F
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

さくいん

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

東芝製品の修理サービスはモバイルAVサポートセンターが対応いたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
モバイルAVサポートセンターにお申し付けください。

【ハードディスクカメラに関するお問い合わせ】
使い方、修理、故障、アプリケーションソフトなど
『モバイルAVサポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間：月～土 10:00～20:00（祝祭日、年末年始等を除く）

インターネットで情報を . . .
ホームページからサービス・サポートを含む最新情報の発信をしています。
ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。
ホームページ：http://www.gigashot.net/

※ 上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ
（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦一丁目1番1号
※住所は変更になることがありますのでご了承ください

A100OMJ-4